

大徳寺派系密参録について(九)

駒澤大学図書館蔵『臨濟録密参録』(仮題) 翻刻

飯 塚 大 展

【翻刻凡例】

- 一、本稿は、駒澤大学図書館所蔵『臨濟録密参録』(仮題、請求番号一八八・八四・五三三)を、翻刻するものである。本史料は、大徳寺派系の密参録であり、江戸時代中期の写本と推察される(序跋並びに奥書等無し)。以下法量を掲げる。近代改装表紙、縦二七・四種、横二〇・〇種、原表紙あり、全一〇紙(楮紙、遊紙前一紙、後一紙)。半丁一〇行、一行二八〜三三文字。
- 一、翻刻に際して改丁は、() 内に丁数、及び表裏(オ・ウ)を付記した。
- 一、翻刻に際しては、異体字・略体字・俗字等、原文を忠実に再現することにとつとめたが、省文等、活字用正字に改めたものがある。誤写・脱字等が明らかな場合には、傍注の形で付記した。
- 一、本史料は、必ずしも改行は施されていないが、本則本

文・下語・弁を区切りとして改行した。又、本文の理解に便ならしむる為に、筆者(飯塚)の意に従って、読点を付した。

上堂・説法

勘辨

行録

臨濟録(原表紙)

序

黄檗山頭、曾遭痛棒、

下 岸崩石裂

弁、林際ノ黄檗三度と六十棒打レタハ、佛法ノ捻名ニアツカツテ問タガ、トガテ打レタ他、

師謗云、臨濟八、六十棒ノ下テ、何ト悟タソ、

弁、根本佛法ノ捻名ト云事モ無ク、的々ノ大意ト云事モ無
イヲ、誤テ問タト悟タ、

師話曰、大機大用ヲ尽ク推シアラワシ、六十棒打テ為人シ
タ他、

大愚助下、方解築拳、

下、一任蹕跳、

弁、大機大用ヲ悟得テ、跳リ上リ、築三拳シタトハ、大愚
ノ助ノ下ヲ、コフシヲ以テ三度マテツカレタ事也、

碎焚机案、坐断舌頭、

下、上無攀仰、下絶已躬、

弁、黄檗ノ百丈(一オ)ヨリ付属ノ禅板・机案ヲ、臨濟ニ
付属セフト云ワレタレハ、根本ノ上ニ何ノ印可證明ト云テ、
イタカゲナ事ガ有フソ、火ヲ持テ来レ、燒テ棄フト、截断
ヲ用切テ云ワレタ上、三世ノ諸仏、歴代ノ祖師ヲモ頭ニ置
カ又見地ヲ云ワレタガ、上無攀仰ノ方也、又、臨濟ニハ印
可證明モ無ト云テ、天下ノ人ガ是非セフスル、其舌頭ヲ、
此机案ヲ以テ坐断シタ処也、

師曰、如何ニ器用ト者ト云テモ、蹤跡カナケレハ、是非ス
ル者チヤヲ、此禅板机案ヲ以テ、天下ノ人ニ物ヲ言セ又処
ガ、坐断舌頭ノ義也、ソコヲ絶已躬ト用タ也、

照用同時、

下、充塞六合、

弁、照ノ字ヲ本分ニ用イ、用ノ字ヲ色相ニモチイ、又八照
ノ字を佛ニモチイ、用ノ字ヲ衆生ニモチイ、何モ(一ウ)
打力ヘク本分ヲ磨シ切タ上カラ、自由三昧ニ云タ也、

唯餘一喝、^{ヒレ}下

師謗曰、如何是餘底一喝、

答云、這惡賊、

弁、根本ノ上ニ餘サフスル一喝力無ヲ、有フ様ニ、馬防カ
賊テ云タ也、

尚要商量、

下、惱乱春風卒未休、

弁、根本ノ上ニ佛法商量ト云事モ無ヲ、餘一喝ト云タ、賊
ヲマダ、^{イマ}タサ、テ、尚要商量ト云テ、肝要ニ商量セフスル
事ノ有フ様ニ云タホトニ、惱乱春、ト、コチカラ馬防ニ
向テ下吾シタ也、

師話曰、此序ハ、馬防ガヒツ切テ、好書イタト云沙汰也、
根本ノ上ニハ、一喝ト云事モ、佛法商量ト云事モ無ク、一
言半句モ言フ事ガ無ト、薰直ニ云テハ、建立ガナラヌ(二
オ)ホトニ、推シ藏テ書イタ、殊ニ臨濟ノ手段ハ、賊ヲ肝
要ニ用ルホトニ、馬防ハ、無眼子ト云ヘ共、此序ヲ見時ハ、
明眼テアルソト云事也、

語録

府主王常侍与諸官請師陞座、

ト作群作隊、又、撥草瞻風、

弁、常侍ノ教意ヲハラリト打掃テ、臨濟ノ說法ヲ聽聞スルハ、色相ヲ打掃テ、本分ニ赴ク意也、諸官人モ、臨濟ヲ信仰シテ、陞座ヲ請タ也、

又、作群作隊、

弁、諸官人共、臨濟ノ說法ヲ聽聞仕ラハ、忝カラフト云テ、コソリ聚タ躰也、

師話曰、撥草瞻風ノ句ハ、爰テハ右ノ弁ヨシ、常ニ用ル時ハ、初タ学者ガ、初タ知識ニ違フ時ニ、用ゾ、其時ノ弁ハ、無明ノ荒草ヲ掃テ、知識ノ風土ヲ瞻ルト云意也、(二一ウ)師上堂云、山僧今日事不獲已、曲順人情、方登此座。若向祖宗門下、称大事、

拶曰、如何是大事、

ト、月白風清、

弁、根本ノ上ニ、何ノ大事ト云事ガ有フゾ、何ノ道理モ無事ヲ云タ也、

直是開口不得、無汝措足處、山僧此日、以常侍堅請、那隱

綱宗、

拶曰、如何是綱宗、

ト、清風明月、

弁、何ノ綱宗ト云テ、取立ル事カ有フゾ、衲僧ハ、何ヲモ

綱宗ト用タホトニ、綱宗ト云テ、隱サフ事モ、露サフ事モ、無ゾ、何ノ道理モ無事ヲ云タ也、衲僧ハ、取定テ物ヲ云又

者也、八境界共ニ、処ニ随テ、綱宗ト用ゾ、

還有作家戰將、直下展陣開旗麼、對衆證拋看、

ト、撓鉤搭索、又、金鉤垂四海、

弁、是ハ、索話チヤ、カフ云テ、諸人ヲ如何ト釣試タゾ、

僧問、如何是佛法大意、

ト、當機觀面、又、句裏呈機劈面來、

師便喝、

ト、觀面當機、又、勸破了也、

弁、向ノ句中ヲ勸破ゾ喝ス、

僧禮拜、

ト、陷虎之機、

弁、上ツラハ、喝ヲ謝ゾ、一段殊勝ニ候ト云体ニ禮拜シテ、

底ハ、林オノ陷シイレフトカハツタ、ヨソロシイ振舞也、

師云、這個師僧、却堪持論、

ト、一手擡一手擡、

弁、佛法ヲ商量セフナラハ、這ノ様ナ僧トセイテハト、托

上シタ、サレ共、師家カラ学者ヲ、師僧ト云テ、コチ揚タ

処ガ、却テ却下也、

師話曰、抑スレハ揚(二一ウ)カ備リ、揚スレハ抑カ備也、

問、師唱誰家曲、宗風嗣阿誰、

下、知而故犯、又、斫額望天衝、又、言中有響、

弁、林才ハ、黄粟ノ嗣法ノ弟子ト云事ヲ知又者モ無イヲ、如此云テ、ヲソロシイ林才ヲ犯也、

又、衝開碧落松千尺、

弁、下トノ上ヲ犯スト云タ也、碧落ヲハ林才ニカケテ見、松千尺ヲハ此僧ニ見ル也、

師云、我在黄粟処、三度發問、三度被打、

下、人得一牛、人還一馬、又、拳來踢報、

弁、向ノ圍續ニ不墮、アリノマ、ニ云テ聞セテ、手ヲ失ワセフトカ、ツタ処ハ、至極言イカヤイタ道理也、

僧擬議、

下、龍頭蛇尾、

弁、林才ノ打力喝スルカセフスト(三才)シタラハ、其上テ一手ハタラカフト思フタニ、ヒツツカヘテ、アリノマ、

答タ処テ、此僧ガトツテニハクレテ、ハタト擬議シタ、

(愚)カ案ニ相違ノ擬議也、サレトモ、胸中ノ廣キ僧ナラハ、

當レ時何ト成共、云フヘキニ、擬議シタ処ハ、蛇尾也、

又、果然、

弁、サレハコソ、擬議シタハ、擬議セフト思タ事ヨト、此僧ニムイテ下吾シタ也、

又、索短難到深泉、

師便喝、隨後打云、不可向虚空裏釘橛去也、

下、為慈悲故、有落草談、

撈云、何タル処力落草ソ、答云、喝シタマテ、置フスルヲ打タ、又、向虚空ト、云テ、短処ヲ知テセフトカ、ツタ処ガ、落山ノ談也、

又、痛処下針錐、又、拋款結案、

有座主問、三乘十二分教、豈不是明仏性、

下、向鬼窟裡(三ウ)作活計、又、不謬為座主、又、元來

在蝦蟇窟裡、

弁、元來教者チヤニ依テ、我方堂ノ佛尊シト世話ニ云フツレニ、佛性ヲ明ムル事、教ノ上ヨト、ヲカシイ事ヲ随分ト思テ問タ也、

師云、荒中不曾鋤、

下、截釘斬鉄、

弁、荒草不曾鋤トハ、荒草トハ、教ノハテシモ無ヲサイテ云タ、

又、一槌兩當、

弁、荒草ト截断シテ聞セタ処ハ、為人也、サスレハ、截断、為人兩面目也、

主云、佛豈賺人也、

下、聽事不真、喚鐘作響、

弁、荒中不曾鋤ト、教意ヲ截断シタ聞セタヲ、為人ノ意トハ、エシライテ、左様ニ被仰様ナラハ、佛ノ人ヲ犯テ、

妄語ヲイワレフカト云々、

又、鬼不離位、

弁、終ニ教意ヲ離レヌ也、(四才)

師云、佛在什广処、

下、無孔鉄鎚當面擲、又、落中求人、又、龍袖撥開全體現、

又、和盤推出夜光珠、

弁、佛ハトコニ在ルト思テ、左様ニ云ワ、ヤカテ目ノ前ニ露

レテ在ル者ヲト、本分ヲ為人シテ云タソ、

主無語、

下、還似知耻、又、兩三回死了、

弁、物モエ云ワイテ居タハ、(還)耻ヲ知タニ似ト云心也、

師云、對常侍前、擬瞞老僧、速退トト、妨佗別人請問、

下、大海不留死屍、又、痛処下針錐、又、抛款結案、

弁、工心得モセ又者ガ出テ、人ノ問話ヲ妨ゲフヨリモヒ

ツコメト云テ、底ニ心得サセフト思心カアル也、(四ウ)

復云、此日法筵為一大事故、

撈云、如何是一大事、

下、耳朶兩片皮、

弁、色相ヲ一大事ト見ル也、本分上ノ一点ノ相描毛無ヲ、

色相ガサマタゲ、此苦痛ヲサスル、暫時モ色相ニ心ヲ放テ

ハ、大事也、色相ノ上ノ用イガ、一大事也、

師話曰、已前百丈モ色相ヲ一大事ト思ワイテ、見ハツイタ

ニ依テ、野狐身ニ墮シタソ、
更有問話者麼、速致問來、

下、金鈎垂四海、又、撈鈎搭索、又、探竿影草、

弁、有問話者广ト、探リ試ラレタ也、

你纔開口、早勿交涉也、何以如此、不見釈尊云、法離文字、

不属文字因、不在緣故、

撈曰、如何是法、

答云、明歷々、又、觀(五才)面不藏、

為你信不及所以、今日葛藤、恐滯常侍与諸官人員、(六ウ)昧佗

佛性、不如且退、喝一喝云、少信根人、終無了日、

下、平生心臆向人傾、

弁、喝一喝シタト云カ上タ心也、其ノミナラス大衆ニ撈着テ

云々、吾宗ノ事ハ、無根機テハ、了リ得ル日ハアルマイト

云タハ、深イ為人也、

久立珍重、

下、耳朶兩片皮

弁、珍重ト云ハ、暇乞ノ言也、珍トモ重セヨト云義也、何

事テモアレ、人ト別レサマニ、近比珍重ニ候ナト、云ソ、

目出タイナト、祝シテ重事ノ様ナ事也、サテ、久立珍重ト

ハ、ア、久フ長事ヲ申テ、諸人御勞煩テ候ト、礼ヲ云テ

(五ウ)果々、色相ノ上ノ礼話也、各御歸アツテ、休息候

ヘト云テ果々、色相ノ上ノ礼話也、

請益

拶云、久立珍重ト云ニ、別ニ生涯ノ一路ニ當ル事アリ、弁
来、

弁、色相八暫時モ苦痛ナ、イヤナ者チヤホトニ、本分ハ早
フ帰ラフスト云暇乞チヤ、色相八何事モ苦痛ナ、片時モイ
ヤナ者チヤホトニ、暇申スト云タハ、截断ヲ用イテ云タ也、
又、各モ早フ本分ノ田地ハ帰テ、心安シテ御居アレト云心
モアル也、兎角相ヲ截断シ、本分郷ノ帰ル心アルヲ以、生
涯ノ一路ト用タ也、生涯ノ一路トハ、人ノ一生涯ノ肝要ノ
一路ト云義也、

師因一日到河府、主王常侍請舛座、麻谷出問、大悲千
手(六才)眼那个是正眼、

下、句裏呈機劈面来、又、當機觀面、

弁、麻谷ノ句中ヲ以テ問タ、

師云、大悲千手眼、那个是正眼、速道、

下、还把鎗頭倒刺人来、又、箭鋒相拄、

麻谷拽師下座、麻谷却坐、

下、前箭輕、又、慣戰作家、又、青於藍、

弁、麻谷ノドフド大悲千手眼ニナリ切テ、坐セラレタ、

師近前云、不審、

下、後箭深、又、冷水、

弁、不審ト云タハ、何タル珍イ手タテカ在テ、左様ノ振舞

ヲセラレ候ヤラン、不審ニ候ト云方モアリ、又、人ヲ引キ
下イテ、師家ノ座上テ坐セラレタハ、何タルリウン(六ウ)
ナ分上ガ在テ、左様ニセラル、ソ、不審ニ候ト云テ、チツ
トモ、伎倆ヲ不_レ出、近前シテ學者ノ體ヲシテ、向ニ手ヲ
失ハセフトカ、ツタハ、負ケテ勝タ振舞也、前ヨリモ一段
深イ振舞也、
麻谷擬議、

下、金言在胸、

弁、此擬議ハ、只ノ擬議トカワレリ、林才ヨリモ一重上ヲ
云ワフスト思案スルニ依テ、チャット擬議シタ、金言
ガ胸ニ在レ共、云イ出又問ヲ、向カ待タヌホトニ、擬議ニ
成タソ、不通ノ者ナラハ、悪イ言句ナリ共云テ、時ノカツ
ヲ合スヘキヲ、麻谷ハ、ナマシイノ事八言フマイト思ニ依
テ、チャット云出サナンタ也、

又、龍馬一蹶、

弁、龍馬ナリ、其時ニ依テ、ケツマツク事モナフテハ也、

又、可惜許、

弁、随分ノ麻谷カ、トテモノ事ナラハ、擬議セスハ好フニ、
(七才)アツタラシイ事カナ、ト云心也、

師亦拽麻谷下座、師却坐、

下、波留大海、又、百川飯海、

弁、モハヤ互ニ見尽ヤフテ、林才モ本座ハ飯テ坐シ、麻谷

モ本ノ処ヲヲロイテ、サツト収夕処也、

又 天際日上月下、

麻谷便出去、

下 雲出洞中明、又 開山ノ下語ニ、雨過竹風涼、

弁、サツト雨力過テ、竹風ガ涼イ様ナ也、清シトモアル

ゾ、是ハ、兩方見尽ヤフテ、出去テ、何ノ道理モ無也、

師便下座、

下 當頭霜夜月、任運落前溪、

上堂云、赤肉團上有一無位真人、常從汝等諸人面門出入、

未證掘者看、

下 這老賊、

弁、赤肉團上ハ、人ノ胸ノアタリ(七ウ)ノ事ゾ、一無位

ノ真人ハ、本分ソ、本分力胸ノ中カラ入ッ出ツスルハト、

キツカト有ル者ノヤフニ云タ処ガ、賊チヤ、

又 撓鉤搭索、

弁、本分ガ出入セフスル様ニ云テ、諸人ヲ如何ト鉤テ看タ

也、

时有僧出問、如何は無位真人、

下 好問、

弁、是ハ、如何は無位真人ト問ワイデ、カナワヌ処也、ヨ

フ問タ、縦イ真實好僧ナリ共、問ヘキ処也、

又 擔板漢、

弁、無位真人ノ方ハカリヲ眼見テ、句中ニ當テ搵スル理ヲ

不知、一方ムキナ処、此僧ノ首尾ニテシレタリ、

師下禪床、把住云、道、

下 凜々威風逼人寒、

弁、禪床ヲ下テ、ヒツツカマエテヲイテ、急ニ問タホトニ、

凜々 寒ゾ、(ハオ)

其僧擬議、

下 龍頭蛇尾、又 果然、

弁、前ハ好ク搵シタ様ナレ共、爰テ何トモエ云ワヌホト

ニ、龍頭蛇尾也、底力ヲ心得又処力聞エタ也、果然トハ、

サレハコソ、擬議シタハ、ト云心也、

師托開云、無位真人是什麼乾屎橛、便販方丈、

下 平生心膽向人傾、又 釣竿截尽重栽竹、

弁、此僧一向ニイタラヌ僧チヤホトニ、却テ為人ノ手ニ赴

テ、無位真人ハ、言句ニアツカル様ナ者テハ無イ、何ノ道

理モ無者ヨト云テ、販ラレタ支ナリ、又前無位真人、從面

門出入スト、賊ヲ無極云尽サレタハ、又爰テヲコシ出テ、

続テ賊ヲ用イラレタ、何ガ無位ノ真人力、乾屎橛テハア

ラフソ、重テノ賊(ハウ)ナルホトニ、釣竿 竹ト吾

シタ也、

師話曰、無位真人是什麼乾屎橛ト云テ、方丈へ販ラレタハ、

ナニトモワケモ無事ヲ云テ、人ヲ惑乱シテ販ヘラレタ、一

段ヲソロシイ賊也、林才ノ手段、常ニ如此ソト、又東溪和尚ノ被仰タ、爰テ定メテ一舞舞^{ヒトライ}テコソ、方丈飯ラレツラフト、左様ニ被仰タモ、初ノ如クウケモ無事ヲ云ツ、振舞上ノ更也、

請益、

無位真人是什广乾屎橛、

爰ニ別ニ下吾来、

下 無孔鉄槌、

弁、無位真人ハ、何ノ用ニモ立又者ト云心也、乾屎橛モ、何ノ用ニモ立又者也、無孔鉄槌トハ、槌ニハ孔ガ有テコソ、柄ヲ(九才)スゲテ釘ヲモ打ヘキニ、無^レハ孔、何ノ用ニモ立又事也、本トハ用ニ立又者ト云処ニ、此句ヲ用ル也、又養叟ノ下吾ニ、月白風清、

弁、無位真人ハ、乾屎橛ノ如ク、何ノ道理モ無イ者ヲト云心也、

上堂、有僧出禮拜、

下 爛泥裡有棘、

弁、此僧ハ、ヲソロシイ僧テ、何トモ云ワイテ、上堂コソ、殊勝ニ御座候へ、ト云體ニモテナイテ、ムツクリト禮拜シタ、

又、展手不見掌、又 要捋虎鬚、

師便喝、

下 勘破了也、又 鑑在機前、又 来風深弁

僧云、老和尚、莫探頭好、

下 前箭輕後箭深

弁、上堂力殊勝サニ禮拜仕候ニ、何トテ一喝ノ人ヲ御探リ(九ウ)候ゾ、ナニト御探リ候共、探ラレ申マイニ、御無用ノ事哉ト云心也、

師云、你道、落在什广処、

下 捉襟見肘、

弁、サフ云事ハ、ドコへ落著スルゾ、ト云テ、落着著キ處ノ有ヘキ様ニ云テ、トリトメテ見タソ、

僧便喝、

下 虚空裂破、又 慣戦作家、又 箭鋒相拄、又 龍戲滄海、

虎嘯南山、

此下吾ノ弁ハ、林才モ此前ニ喝シ、此僧モ喝シテ、互ニ喝シヤフモ、又衲僧ノ遊戯ニ昧也、

又有僧問、如何是佛法意、

下 句裡呈機劈面来、

師便喝、

下 鑑在機前、又 勘破了也、又 来風深弁(十才)

僧禮拜

下 伸手不見掌、又 陷虎之機、

弁、此僧カコハ者テ、一喝殊勝ニ候ト云風情ニ取ナイテ、

禮拜シタソ、

師云、你道、好喝也無、

下、捉襟見肘、

弁、今ノ喝々、好喝カト云テ、トリトメテ見タソ、

僧云、草賊大敗、

下、重疊関山路、又、一手擡一手擡、

弁、先草賊大敗ト云字面ハ、草ニ隠ル、ホトノ小賊ナレ共

天下ヲモ破リ、国ヲモ傾ルホトノ大賊ト云心也、抑揚也、

サテ、重疊関山路ト下吾シタ^時々、此僧ノ初カラ句中ヲ以

テ、色々ニ振舞イ、今又草賊大敗ナト、人ヲ抑揚シツナ

トノ、句中カ如何ニ重タタト云心也、又、一手擡一手擡

ト云句ノ時ハ、草賊ト仰シ、(十ウ)大敗ト揚シタ也、

又、後先師ノ下吾ニ、都因茅草火、焼却大汗^か山、

弁、チツトシタ茶屋ノ火カラ焼モツテキテ、大山マテクツ

ト焼イテノケタ、ト云心也、此句ノ心ハチカヘ共、草賊大

敗ト云ニ此ノ用イタ也、

師云、過在什処処、

下、劈殺入、

弁、吾ヲ草賊ト云カ、過ガトコニ在ツテ云ソ、ト責ツメテ

拶シタソ、

僧云、再犯不容、

下、生姜終不改辛、

弁、句中ヲ終ニ不改、ヨソロシイ心テ云タ也、

師便喝、

下、青於藍冷似水、又、踞虎頭収虎尾、

弁、前喝シタヨリモ猶冷ソ、喝々収タ也、

是日兩堂首座相見、同時下喝、僧問師、還有寶主也無、

(十一才)

下、問得可始得、

師云、寶主歴然、

下、官不容針、私通車馬、又、曲直分明、

弁、兩堂首座ノ相見ニ、一度ニ喝ヲ下タヲ、此喝ニ寶主力

候カト問タ処ヲ、寶主歴然ト羶直ニ答ヘタヤウナレ共、底

ニソロシイ句中アリ、此ノ下吾ノ心ハ、面ムキ針ホトモ

ユガマズ、羶直ニ、内儀ニハ思様輿車ヲモ透スホトナ、

ゲフサンナ曲タ句中カ在ルト云心也、

師云、大衆、要會林才寶主句、問取堂中ニ首座、

下、寶扇老婆手遮日、

弁、アツ火ハ子ニ掃フ林才ノ吾カ句中ヲ推藏テ云タ、ソソ

ロシイ機也、寶扇老婆手遮日トハ、寶扇ノ老婆ナラハ、幸

在ル扇デコソ、日ヲ遮ラフスレ、手ヲ以テ遮タハ、(十一

ウ)

吾カ扇ノ悪目ヲ見セシト蔵タ大賊ナリ、爰モ、大衆ニ吾カ

寶主ノ句カ知り度ハ、兩堂首座ニ問ヘト、チャツトハツイ

夕也、

便下座、

下 曲終人不見、江上數峰青、

僧問、如何是佛法大意、

下 句裡呈機劈面來、

師豎起拂子、

下 拂子頭上有眼、

并、如何樣向ノ働ニヨツテ、打タフトカ、ツタホトニ、拂

子頭上有眼チヤソ、

僧便喝、

下 勘破了也、又 來風深弁

并、向ノ機ニ當テ、ハタト喝シタ也、

師便打、

下 踞虎頭収虎尾、又 頭正尾正、(十二才)

又僧問、如何是佛法大意、

下 句裡呈機劈面來、

師亦豎起拂子、

下 拂子頭上有眼、

并、前卜同シ、

僧便喝、

下 勘破了也、又 來風深弁

并、句中ヲ勘破シテ、ハタト喝シタ也、

師亦喝、

下 青似藍冷似水、又 觀面無改路

僧擬議、

下 龍頭蛇尾

并、尾タリナソ、

師便打、

下 拋款結案、

并、僧ノ擬議シタトカラ白狀サセテ打タ、

師乃云、大衆、夫為法者、不避喪身失命、我二十年、在黃

檠(十二才)先師處、三度問佛法的、大意、三度蒙佗賜杖、

如蒿枝拂著相似、如今更思得一頓棒、誰人為我行得、

下 探竿影中、又 琛生招箭

并、學人ノ問ニ、誰力行得ツラフト探リ招キヨセタ、

時有僧出衆云、某甲行得、

下 一釣便上、又 釣得一个、

并、莫カフ云ワセフトスルニ出タハ、サシテタヲカシイ事

ヨ、便餌ニカ、ツタソ、

師拈棒与他、

下 放過一著、又 何不行令、

并、拈棒他ニ与フヨリモ、先打カシ、ノサくト棒ヲアタ

ヘフトシタ処ヲ、若機在ル僧テ、却テコチフリニアワセラ

ハ、臨濟毛手ヲ失ワレフスル也、林才ホトノ人ガ、ナニト

シタ事ニ、棒ヲ他ニ与フヨリモ、令ヲ行セヌソト、コチカラ(十三才)見タ也、
其僧擬接、

下 招禍上身

弁、林オノ棒ヲ与ヘテ、取ラバ打フト思ハレタニ、如案吾力事シテ接セフトシタハ、禍ヲ招テ身ニホセタ者也、

師便打、

下 初心不改

弁、始ニ誰人カ為我行得ト云処ニ、好フモ云へ、悪フモ云へ、打テクレフスルト思テ打タホトニ、

初心不改、

又 果然有遺作、

弁、案ノ如ク打タハ、ト云心也、随分ノ林オノ上ヲモ、コチノ眼カラハカツテ云タソ、

請益ノ下吾コ、ニアリ、

下 大運生

弁、今打タハ、遅也、始ノ某甲行得ト云タ処ニ打フスルヲ、ノサケニ棒ヲ与フトシテ、(十三ウ)接フトシタ処ヲ打タハ、手ノヒ也、此僧、機ノ無者ナレハコソ、ヒツコクツテ取ラナンタレ、アフナイ事也、ケガノ号名ト云者也、

上堂、僧問、如何是劔刃上事、

下 袖裡藏鋒

弁、此僧ハ、劔刃上ニ用処有テ問イハセヌ、林オヲ如何ト試テ問タ、一段トヲソロシイ心カアル也、

師云、禍事ハヤシ、

下 来風深弁、又 勸破了也、

弁、禍事ハヤシトハ、一問ノ句中ヲ指テ云タ、又、劔刃上事ト問タ、字面ニ付テモ云タ、

師話云、何事ヲモ問へ、禍事ハヤシト答也、劔刃上事ト問

タニ、別而妙ナルト、先師以来ノ沙汰也、

僧擬議、

下 龍頭蛇尾、又 拋款結案、

弁、一問ノ上ニ鋒銚ヲ推シ(十四才)藏テ、ヲソロシイ手段テ問タカ、今一撈ノ下テ擬議シタハ、龍頭蛇尾也、

又 龍馬一蹶、

弁、林オニ被撈著、何タル僧モ擬議セイテ、カナフマイ、此僧モ一手向上ノハタラキヲセフト思案スルニ依テ、擬議ニ成タ、龍ノケツマツキ也、

濟便打、

下 頭正尾正、

問、祇如石室行者、踏確忘却移脚、向什底广処去、

下 句裏呈機劈面來、

師曰、没溺深泉、

下 諾没溺深泉、

弁、是八、コチカラ林才へ向テ、中ノ一、羈サフテ候ト肯テ方也、石室行者ノ、碓ヲ踏テ脚ヲ移ス事ヲ忘却スルホトニ、工夫ニシ入タヲ、随分サフニ心得タルモ、衲僧(十四ウ)ノ上カラ見レハ、ホレ者ヨト看タ、深泉ニハマツテ溺レタ者ヨ、ト云心也、又、向ノ一問ノ句中ヲ指テ、其ノ様ナル毒心ヲ以テ、人ヲ看ル様ナ事ハ、皆我ト句中ニハマツタ者ヨ、句中ニ惑乱セラレタ者ヨ、ト云タル方モアル也、衲僧ノ眼カラ、句中ヲ打テノケテ云タ也、吾レト句中ノ惑ヲ受ルハ、深キ淵河へハマツテヲホレタ者也、是モ権実備タホトニ、一槌兩當ト云句ヲモ用タソ、是八名答話チヤト、南浦ノ被仰タト也、答話ヲセフナラハ、カフ答話ヲセイテハ也、

師乃云、但有来者、不虧欠伊、

下、背負胸駄、

弁、衲僧ハ、本分ヲ常ニセナカニモ負イ、胸ニモノセテ置テ、何ト様ニ道イ来ルモ、ハタラカサヌ、本分ニ一枚二用ル也、伊トハ、本分也、何ト問イ来ルモ、本分ヲ(十五才)カ、ヌ、ト云心也、常ニ衲僧ハ、本分ヲ自由ニ三昧ニ用切テイルヲ、背負胸駄ト云也、

上堂云、一人在孤峰頂上、無出身之路、一人在十字街頭、亦無向背、那个在前、那个在後、不作維摩詰、不作傳大士、

下、作賊人心虛、又、這老賊、

弁、孤峰頂上トハ、本分也、其孤峰頂上コソ、出身ノ路チヤヲ、孤峰頂上ニ在テ、出身ノ路力無ト云タハ、賊也、又、十字、ハ、色相也、其十字街頭ノ路ニイタラバ、東西南北、向背カナフテ、カナフマイヨ、向背ナシト云タモ、賊也、那个在、ト云タモ、今日ノ上ニハ、前ニモ後ニモ、何成リ共、有フスルヲ、那个カトトガメタハ、(十五ウ)無イト云義也、是モ賊也、不作維摩詰、不作傳大士トハ、維摩ハ、佛ノ時ノ者、傳大士ハ、梁武帝ノ時ノ者チヤ、サスレハ、不作前後ノ義也、今日ノ上ニハ、前ノ者チヤ後ノ者チヤト云事力在ルモ、前ノ者ト云事モ無イ、後ノ者ト云事モ無ト云タ、是モ賊也、尽ク賊ヲ云テ試タ上堂也、

上堂云、有一人論劫在途中、不離家舍、有一人離家舍、不在途中、那个合受人天供養、便下座、

下、這老賊、又、作賊人心虛、

弁、論劫トハ、阿僧祇劫ヲ經ルト云心也、過去久遠劫ヨリ今日ニ到ルマテ、種々サマノ事ヲ論シ来ル人ト云義也、途中ニ在レハ、家舍ヲ離ルヘキヲ、家舍ヲ離レスト云イ、又、家舍ヲ離レタラハ、途中ニ有ルヘキヲ、途中ニアラズト云タハ、賊也、那个合受(十六才)人天供養ト云タモ、人天ノ供養ト云事ガ、実ニ有フ事ノ様ニ云タモ、賊也、

上堂、僧問、如何是第一句、

下 豎窮三際、橫該十方、

拶云、意旨如何、

荅云、這老賊、

弁、衲僧ハ、不斷千境界、万境界ヲ、自由自在ニ用レ共、先ツ面ニ賊境界ヲ用ル者ソ、実ノ方ヲ一重踏去テ、権方便ヲ以テ、人ノ邪正ヲ勘弁スルホトニ、賊ノ境界ヲ肝要ト第一句ニ用タ也、

拶云、三要印開朱點側、未容擬議主實分、弁来、

此句ノ中ニ色々ノ心力備リタレ共、賊力面也、三要印ノ朱點ノ、主實ノナト云テ、実ニ有フ様ニ云タハ、賊也、

拶云、サテ、三要印トハ、何ヲ云タソ、(十六ウ)

弁、三要印トハ、本分、現成、色相ノ三境界ヲ云テ候、ナセニナレハ、印スル空、本分也、蹤跡力無ホトニ、又、印ル水、現成也、何ト印スレ共、流レテインデ、道理力ナイホトニ、又、印ル泥、色相也、跡力ツクホトニ、

拶云、三要印 ト云タ、一句ノ道理ヲ弁来レ、

弁、朱點側トハ、赤色ヲ以テ、朱點トハ、色相ヲ云タ、一句ノ心ハ、本分・現成・色相ノ三ノ印ヲ推シ開テ見レハ、其中ノ色相ハ入ラヌ者ト云心ナルホトニ、朱點側ト云タ、側トハ、ソバ事ヨ、ト云理也、未容擬議 トハ、向ガ物ヲ云フ云マイニ取り合ス、間ニ不容髮、ハヤ人力深淺高下、

好僧惡僧ヲ分ツト云心也、主トハ、本分ヲ自由ニ用得タ、師家分上ノ事、實トハ、マダ色相ニヒカサル、底ノ学者ヲ云心也、

問、如何是第二句、

下 豎窮三際、橫該十方、(十七ウ)

拶云、意旨如何、

下 滴水滴凍、又、斬釘截鉄、又、截断紅塵水一溪、又、截断衆流、

弁、截断力、三句ノ中デ面也、

拶云、妙解豈容無著問、泓和争負截断機、弁来、

弁、妙解トハ、真実ノ妙処ヲ悟リ得タ、ト云心也、妙処ニ能ク悟徹シタ上ニハ、問フスル事モ、答スル事モ無ト截断シタ也、温和トハ、方便也、色相也、色相ノ上ノ方便ナト、云事ハ、截断ヲ能用タ機ニハ、ナニガ力ナワフ、ヨツテモツカ又事ヨ、ト云心也、

又弁、無著ガ様ナ鈍ナ者ハ、文殊ノ利根ナ機ニハ、何ガ力ナワフソト截断シタ也、又方便モ、截断ノ境界ニ違テハ、カナフマイ也、何モ截断也、此弁ノ時ハ、妙解ヲ文殊ノ利根ニ了解シタ上ニ心得也、

問、如何是第三句、

下 豎窮三際、橫該十方、

拶云、意旨(十七ウ)如何、

下 耳朶兩方皮、

撈云、看取棚頭弄傀儡、抽牽都來裏有人、弁來、

弁、色相ノ上ハ、棚ノ上テ傀儡ヲアヤツ、テ舞ハスルト同

事也、皆アヤツリ者也、人形ニ絲ヲツケテ、中ニ人カ居テ

牽ツ、種々ノアヤツリヲスルト、今日色相ノ上ト換ルコト

ハ無也、棚頭ニ弄傀儡上ニハ、色々ノ境界ガ自然ニ備レ共、

色相方面也、賊機關ヲハタラクト云モ、千境界・万境界ヲ

用ルト云モ、今日、色相ノ内ヲハ離レヌホトニ、一ノ奥ニ

色相ヲ置テ事也、

師又云、一句語須具三玄門、

下 豎窮三際、横該十方

撈云、意旨如何、

下 作賊人心虛、又 道老賊、

弁、玄ハ、本分也、衲僧ハ、行往坐臥、八境界、千境界、

万境界ヲ自由自在ニ用ル中テモ、(十八才)先機關ヲ設ケ

テ、人ノ邪正ヲ弁シ、万事物ヲ言イ、句ツカイヲスルカ、

面也、其レモ、中ニ本分ヲ能クフマヘテ振舞也、サルホト

二、句中玄ト云テ也、

下 豎窮三際、横該十方

撈云、意旨如何、

下 耳朶兩片皮、

弁、是モ、色々ノ境界ヲ用ル中デ、色相方面也、衲僧ヲ能

ク用切テ、色相ノ上ヲ何事ヲモアルヘキ様ニ振舞也、然レ

ハ、何ト振舞ヘ共、ウラニ本分ガ備ル也、サルホトニ、躰

中玄ト云テ也、

玄中玄、

下 豎窮三際、横該十方

撈云、意旨如何、

下 鉄牛捧出黄金骨、又 金香炉下鉄崑崙、又 鉄丸無縫

罇(十八才)又 鉄團團、

弁、是モ色々ノ境界ヲ用ル中ニ、本分方面也、是ハ、本分

ヲ推シ重テ、ツヨク云テ也、玄中玄トハ、玄トハ、天地開

闢已前ハ、本分ハカリテマシリ物ガナキ也、天地開闢已後、

雜リ物ガデキタ、其ノ雜リ物ト云モ、本分ニ販スル、然レ

ハ、大地開闢已前モ本分、天地開闢已後モ本分也、本分又

本分也、是ヲ玄中玄ト云テ也、然レハ即、雜リ物モ無イ用

イ也、

一玄門須具三要、有權有用、汝等諸人、作麼生會、下座、

下 平生心膽向人傾、

弁、境界トモ、イクツモ自由ニ用タイ様ニ用ル処ヲ、諸人

ニ知シメフト為人シテ、如此イワレタ也、

師晚參示衆云、有時專人不專境、

下 野渡無人舟自横、(十九才)

撈云、無人ト云タハ、人ヲ奪方、野渡チヤ、舟自横ト云タハ、境ヲ奪ウ又方ト可心得、

撈云、奪人不奪境ト、ナセニ二句ニ云タソ、可弁、

弁、色相方在ルニ依テ、境惑ヲナスホトニ、人ヲ截断スレハ、自然ニ境ヲ奪ホトニ、境ヲ奪テ用力無イ也、

有时奪境不奪人、

下 溪邊掃葉夕陽僧、

師云、溪辺ニ葉ヲ掃テノケタ処力、境ヲ奪処ソ、夕陽僧力指而居タ処力、不奪人、

弁、境ヲ截断スルホトニ、用イ切タ上ニハ、人ヲ奪テ用力無也、

有时人奪俱奪、

下 土曠人稀 相逢者少、又 家破人亡、人亡家破、

弁、人モ境モ一度ニ截断ソノケタ也、

又、千眼看不見、(十九ウ)

弁、人モ境モ奪テノケタレハ、迹ハ何モ無ソ、然ル間、此句ヲ着タソ、

有时人境俱不奪、

下 人面桃花相映紅、

弁、色相ハ現成、又 八色相ト用ルホトニ、奪ワズニ其儘置タ也、

撈云、ナセニ奪ト云字ヲ、四処ニ置タソ、

弁、兔ニ角ニ截断ヲ肝要用サセフガ為メニ、四処ニ置イタ也、

又 百花深処一僧飯、

師云、四料簡ハ、林オノ不足ト云事也、繞路ナ古則チヤト云事ソ、雖然境惑セラル、ホトニ、ソレヲ截断シテノケサセフ用ニ、此ノ古則ヲ拈出セラレタソ、

真正見解、

下 唯願空諸所有、慎莫實諸所無、又 真透万重關、不

住青霄裡、

弁、諸所有ト云ハ、色相、或ハ森羅万像ヲサイテ云タ、(二十才)万重關ト云モ、色相也、又諸所無ト云ハ、本分也、青霄裡ト云モ、本分也、サテ、此心ハ色相万ノ上ヲ能

ク截断セヨ、ナニト用タモ、カト用タモ、色相ニハツレタ支ハ無イソ、色相ヲ截断シ尽イタト云テ、本分ヲモ実ト

スルコトナカレ也、諸人悉ク諸処有ラ空スレハ、諸所無ニ留ル、諸所無ニ留テハ、散々ノ用イ也、本分ニモ脚ヲ

留メマイト用切ル也、如此受用スルコソ、真正見解ナレ、

直透万 裡、

撈云、不住青霄裡时如何、

下 答云、月白風清、又 逢茶喫茶、過飯喫飯、

弁、本分ヲモ至極ト思マイ、脚ヲ留メマイト用イ切テ後ハ、逢茶喫茶、過飯喫飯マテ、何ノ道理モナイ也、悟了同未悟

ノ竟界也、迷悟共ニ打テノケタ也、

你若能歇得、念々馳求心、便与祖佛不別、

下 万里一條鉄、(二十才)

弁、人々色相ニ惑セラレテ、本分ヲ失却シテ種々様々ノ

事ヲ馳求シマワル也、其求ムル心ヲ歇メタラハ、即本分也、

本分ヲ用レハ、祖佛八別ニハ無也、

約山僧見処、与釈迦不別、今日多般用處、欠少什^(原)、

下 鑊湯無冷処、又 背負胸駄、

弁、本分上ニハ、欠少セフスル者力無也、何事ヲモ不餘不

漏、本分一枚ト用ル也、サアルホトニ、本分上ニハ、何ヲ

モ欠力又ト云心也、

無常殺鬼、一刹那間、不揀貴賤老少、

下 上無攀仰、下絶己躬、

撈云、無常殺鬼トハ、什麼ゾ、

弁、無常力、即殺鬼ニ候、貴賤老トモニ、^(少脱也)尽ク無常ナラ

又者ハ無ゾ、卒度ノ間ニツレテ行クゾ、全篇截断シテ云タ

ソ、

古人云、身依義立、

下 耳朶兩片皮、

弁、色相ハ、皆其レノ義依テ立シタ者也、僧ハ僧ノ義

ニ依テ立シ、俗ハ俗ノ義ニ依テ立シタ者也、

土掘鉢論、

下 牙齒一具骨、

弁、土トハ、人ノ居住スル処ノ土也、(二十一才)

其土モ人ノ體カラ論シタ者也、僧ハ僧ノ土ヲ建立シ、俗ハ

俗ノ土ヲ建立スル也、

師云、是ハ、シャフトク、觀音ノ上テ弁スル也、觀音ハ、

佛ナレハ、佛ノ義ニ依テ立スル故、大悲觀世音菩薩ト云ウ

レラル、是モ、身依義立シタ者也、又、或ハ、フダラク

チヤナト、云ヲ、觀音ノ淨土ト云、是モ觀音ノ體カラ論シ

テ淨土ト云也、

法性身、法性土、明知是光影、

下 閑事、

弁、法性ノ身チヤ、法性ノ土チヤナト、云事ハ、皆光ヤ影

ホトナ事ヨ、皆ナ閑事ヨト掃絶シテ云タ也、

大徳、你且識取弄光影底人、見諸佛之本源、

下 照天照地、

弁、弄光影底人トハ、本分也、ナセニナレバ、天地ヲ照ス

者チヤホトニ、本分ハ弄光影人也、諸佛ノ本源ナリトハ、

本分ハ、諸佛ノ本源チヤ、ト云心也、

祇為情生智隔、想變體殊、

下 万里一條鉄、

弁、情ト云ハ、(二十一ウ)情慮ト云テ色相、智トハ、本

智ト云テ本分、想ハ色相、體ハ本鉢テ本分也、元來色相本

分一枚チヤヲ、毎人色相ニ頭ヲツキ入テ、妄想ガ種々ニ
變轉スルニ依テ、自然ニ本分ニトロノク、ト云心也、
但能隨緣消旧業、

下 万里一条鉄、

弁、隨緣ハ、色相也、十二時中因緣ニヒカサル、也、消旧
業ハ、截断也、截断シタレハ、本分也、サアルホトニ、万
里一条鉄ト云句ヲ用タ也、

古人云、若欲作業求佛、々は生死大兆、

下 上無攀仰、下絶已躬、

弁、生死大兆トハ、生死ノキツナト云心也、佛ヲ念メ成佛
セント思ワバ、即生死輪廻ノキツナヨト、佛ヲモ自己ヲモ
截断メ云タ事也、(二十二才)

向閻老前、吞熱鉄丸有日、好人家男女、被這一般野狐精魅
所着、便即捏怪、瞎屢生、索飯錢日在、

下 斬釘截鉄、

弁、截断ヲ能用ヨ、截断ヲ用イサレハ、必輪廻メ、何タル
罪過人ニモ生レテ、今生テ食賣夕飯ノ錢ヲ乞イハタラレフ
ヲシラヌ、ト云心也、林才ノ、諸人ヲ思サマヲトイテ云タ、
瞎屢生トハ、貴人、高人共ニ屬テ云タ事也、

師示衆云、道流、切要求取真正見解、向天下、
、你還
識馳求底广、

下 平生心膽向人傾、
又 百花春到為誰開、

大德寺派系密參録について(九)(飯塚)

弁、是ハ、心性一致ニ用テ云タ事也、佛ヲ求メ法ヲ求、何
ヲ馳求スルモ、皆コチノ心カラ馳求スル、其心ト云物モ、
蹤跡ノ無者チヤガ、識麼ト云テ、(二十二ウ)、識シメント
為人ニテ云タ也、

心法無形、通貫十方、

下 万里一条鉄、

弁、心法ト云モ、色相ノ上チヤ、万里也、通貫十方ト云ハ、
一条鉄也、

目前現用、

下 着衣喫飯、
又 逢茶喫茶、
遇飯喫飯、

弁、目前ハ、色相也、今日着衣喫飯ノ上ヲ、何ノ道理モナ
ク、現成ノマ、ニ用ル也、

人信不及、便乃認名認句、向文字中、求意度佛法、天地懸
殊、

下 説尔(示)一物即不中、

弁、文字ノ中カラ、佛法ヲ思量セハ、ナンテモナイ事ヨ、
本分ハ、何共言語ニワタラヌ者ソ、何ト説クトモ、不中者
也、一向各別ノ者ト云心也、(二十三才)

師示衆云、道流、佛法無用功処、
、祇如今有一个佛魔
同體不分、如水乳合、
鵝王喫乳、

下 入門早知來見解、
明鏡如臺、
漢來漢現、
胡來胡現、
弁、水ト乳トハ、似夕者也、
其レヲ鵝王ハ、
能辨別メ喫ス

ル、其ノ如ニ、衲僧ノ上カラ、人ノ淺深・高下ヲ弁スル也、
入門ハヤ、此僧ハ、如何ホトノ智分ナ者ト知ル也、明鏡ト
ハ、鏡ニ物ノ移ル如クニ、是ハ漢ノ国ノ者力来タ、是ハ胡
国ノ者力来ル、其ノ如クニ、チャツト弁シ分ル也、鶴王ノ
水乳ヲ分ツ様ニ、衲僧モ其レノ機ヲ弁スル也、
如明眼道流、魔佛俱打、

下、上無華仰、下絶己躬、又、斬釘截鉄、

弁、佛ト云モ、魔ト云モ、二俱ニ色相チヤ、

本分ノ眼力ヲ魔佛トモニ打テノケタ也、(二十三ウ)

問、如何是佛魔 内

一期薬病相治、

下、滴水滴(一滴カ)、

弁、薬ハ病ノ在ル間コソイレ、平愈スレハ、イラ又者也、

其ノ如ク、本分ヲ以テ色相ヲ截断シテカラハ、本分モイラ

又者也、サスレハ、病ノ色相、薬ノ本分モ、二俱ニ打テノ

ケタ処ガ、相治也、ホトニ、滴 凍也、

問、如何是真正見解、師云、你但一切人凡人聖 之内

皆是依倚、落在因果、

下、水長船高、泥多佛大、

弁、色相ヲ截断シテコソ、本分ノ田地ニハ到ラフズレ、皆

毎ニ人物ニ依リヨツテ、色相ガ増長スルニ因テ、因果ニ落

在スル也、

師曰、是モ林才ノ、諸人ニ截断ヲ專ニ用イサセフ為ニイワレ
夕事也、
冥着轉遠、求之轉乖、號之為秘密、
(密カ)

下、不得名不得像、

弁、本分ハ、何トモ求メフ様モナク、名ケフ様モ無也、

其力、秘密也、言説ニ渉ルホトノ(二十四才)事ハ、教内

也、言説ニ不涉処ガ、教外別傳ノ秘密也、本分ハ、無者ヲ

有ル物ノ様ニ云処ガ、秘密也、

問、如何是四種無相境、

東湧西没、南湧北没、

履地如水、

下、鑊湯無冷処、

弁、是ハ、万物尽クマジリ物モナフ、本分一牧ト用タ上カ

ラ、如此云タ、東湧西没 ト云タハ、譬へハ、日月ナト

ノ東カラ現シテ、西へ落テ没スルモ、水ナトノ南カラ湧テ

北へ流レ去ルモ、中カラ湧テ辺土へ流去ルモ、辺土カラ湧

テ中へ流去ルモ、皆本分カラ湧キ現シテ、本分ニ皈スル也、

其外三千大千世界ノ森羅万象、アルトアラユル物モ、東西

南北トコカラ現成シタト云理モナフ、フツプト湧ク、其レ

ヲハタラカサズ、マシリ物モナフ、本分一枚ト見タ時ハ、

水チヤ(二十四ウ)地チヤト云差別モ無ク、水陸ノ隔モ無

ト用時ハ、水ヲフムモ地ヲ踏ムモ同物也、ホトニ、履水如

地 ト云タ、本分ニ乘得テ、自由自在ニ振舞所也、

不是你四大、

下 水不水火不火、

弁 本分ノ眼カラ看レハ、地水火風ハ、地水火風テハ無也、
截断ノ如此云々也、
能用你四大、

下 水是水火是火、

弁、先一度不四大ト截断シ切テ置テカラ、ヤガテ其ノ地水火風ノ、何ノ道理モ無処ヲ、能ク用ユヘキ也、能ト云子、
肝要ニ用也、

約山僧見処、勿嫌底法、

下 斬釘截鉄、

弁、勿嫌底法ト云ヨリシメテハ、好ム底ノ法モナイト、カ
フ截断シタソ、(二十五才)

師示衆云、如今學道人、且要自信、有人拈起一句子

語、

下 這老賊、

弁、根本ノ上ニ、一句子語ト云事ハナイソ、語ノアラフヤ
フニ云々処力、賊チヤソ、

祇麼論主、

下 不會為客、勞煩主人、

弁、客ト云ハ、色相、主ト云ハ、本分也、サテ、不會為客
ト云一句ノ心ハ、常ニ色相ヲ受テイレ共、是ハ只開事

ト截断シ、我ハ暫時ノ客人ト為ツタホトノ事ヨト、會セ

サルニ依テ、本分ノカラ勞煩スルソ、我カ一分ノ會得カナ
ラ又処テ、本分ノカラ借テ截断スルホトニ、本分ヲ勞煩ス

ルト云心也、我ト明眼ナラハ、本分ヲ論シテイラ又事チヤ
ヲ、自己ノ會ノナラ又無眼子共ガ、(二十五ウ) 本分ヲ論

スル也、

論賊、

下 帶累別人、

弁、論賊、色相ニ頭ヲツキ入テイル上ノ事也、賊ヲ以テ人
ヲ惑乱スルハ、我カ賊惑ヲ受クノミナラス、人ヲ引キソコ
ナフ也、

論是、

下 取來是非莫弁我、浮世穿鑿不相干、

弁、是非・穿鑿ニアツカルハ、色相ノ上也、本分ニ脚踏実
地テ居ルニ依テ、チツ共人ノ惑ヲモウケズ、是非穿鑿ニモ
アツカラヌ也、是非ヲ論スルハ、色相ノ上ヨト云心也、

論非、

下 可拂自家門前言、莫管他人屋上霜、

弁、本分ノ用イノ足ラヌ者ガ、人ノ是非ヲ云テ謗ル也、能
ク本分ニ踏実地、自己ノ胸(心)(二十六才)胸ヲキレイニ掃
絶シ切テサヘ居タラハ、ソツトモ他ノ非ヲ管シテイラ又事
也、是非ヲ論スルハ、色相ニ貪着スル上ノ事也、本分ヲ用

切タ上二八、謗ラフスル事モ、ホメフスル事モナイ也、
論色、

下 錦上鋪花、

弁、色相ニツヨフ貪着スルニ依テ、イカホトモ結構ナ色ニ、
色ヲ重子タガル、是モ本分ヲ用切タ上二八、無事也、

論財、

下 君子愛財、取之有道

弁、本分ヲ用切タ者ハ、財宝ヲケリヤフ、當座持チアツカ
へ共、閑事ト截断シテ持也、常ノ者ハ、財ヲ一段結構ナ事
ト貪着_(三)ヲ論スル也、

又 富嫌千口少、貧恨一身多、

弁、此句ハ、富貴榮華ニ誇テ、色相ニ貪著スル者ハ、財宝
ノ判談スル口ノ多ヲ又ク也、貧トハ、ナニモ掃絶シ切テイ
ル者ハ、吾身一ツ(二十六ウ)サへ、多ト恨ムル也、如此
眼力ラ人ノ論_(三)財見レハ、色相ニ貪着シタ者也、

莫論説閑話過日、

下 落草求人、又 恩大難酬、

撈云、如何是恩、

答云、閑事、

弁、莫論説 ト云、此一句ノ示シテ、今日ノ上論説ニ涉
ルホトノ事ヲ、皆閑事ト截断シタ、恩ハ、難酬事也、莫論
説閑話過日ト云一句ノ心ハ、色相ノ上ノ閑事ニ貪著シテ日

ヲ過スナ、単々ニ本分ヲ能ク用ヨト示サレタ也、

應物現形、如水中月、

下 風吹柳絮毛毬走、雨打梨花蝶蝶飛、

弁、本分ノ眼力ヲ見レハ、一切現成シタホトノ者ハ、皆ナ
似テ非ナ事也、柳絮ノ飛ヲ見テ、毬力走ルト見、利花_(梨方)
チルヲ見テ、蝶力飛ト見ル様ナ事也、水中ノ月ヲ、本ノ月
ト見ル意也、皆似テ非也、

又 柳緑花紅、

弁、柳ト成リ花ト成リ、人ト成リ(二十七オ)馬ト成リ、
種々ニ應物形ヲ現スレ共、落居似テ非ナ事也、没蹤跡ト知
ラシメレタ也、

問、如何是三眼國土、師云、我共你入淨妙國土中、着清

淨衣、

撈云、如何是淨妙國土、

風吹不入、

弁、淨妙國土ハ、本分ヲ云タソ、

撈云、如何是清淨衣、

水洒不著、

弁、清淨衣ト云テ、キレイ潔白ナ衣ハ、本分也、

説法身佛、

撈云、如何是法身仏、

下 天上天下唯我獨尊、

弁 本分コソ、法身佛ナレ、

師曰、此次ニ理法身、智法身ト云事可參、
撈云、如何是理法身、

下 空劫已前無住処、此人終不涉思惟^(四理カ)、

弁 住処モアリ、四維上下ニ涉ルハ、理法身テハ無也、理
法身トハ、本理ニテ一塵(二十七ウ)一法モ無処ヲ云々、
其レコソ、理法身ナレ、

撈云、如何是智法身、

下 上無攀仰、下絶已躬、

弁 一度相ニ涉タ上テ、智劔ヲ以テ何ヲモ截断シテノケテ、
一点モ無処コソ、智法身ナレ、
又入無差別国土中、

撈云、如何是無差別国土、

下 天地同根、

弁 天地ノ日月星辰、草木山川モ、元來本分ト同根チヤホ
トニ、現成・本分無差別也、ホトニ、天地同根ナリ、

著無差別衣、

撈云、如何是無差別衣、

下 万物一體、又、鉄丸無縫罅、

弁 万物共無差別、本分一體ト用タ衣也、
説報身仏、

下 溪聲廣長舌、山色清淨身、

弁、報身佛トハ、身ヲ元ヘ報答スル佛也、色相ト云者モ、

人ノ腹カラ現成シタ者ナレ共、念(二十八才)慮ノ起処カ、
色相也、明眼ノ上ニハ、此念慮モ膠ノ解タル如クニナル時

ハ、山河大地ト齊ク成也、然時ハ、元ノ現成ニ立隔、身ノ
仏也、左様ニ現成ニ成リ切ル時ハ、溪聲カ、即報身佛ノ廣
長舌也、山色カ、即報身佛ノ清淨身也、

師曰、此次ニ自受用報身ト云スヘシ、

下 天何言哉四時行焉、地何言哉万物生焉、

弁 天地ノ無心無言ニ、四時行レ、万物生如クニ、明眼
ノ上テ、自己ノ受用ヲ能クシ切テ、現成ニ報答シテ、無念
無心ニシテ、何ノ道理モ無イ身ナレトモ、自然ニ八万四千
ノ德相カ備リ、八境界カ備ル也、

又他受用報身、可下吾、

下 百花春到為誰開、又、薰風自南來、殿閣生微涼、又、
除熱得清涼、

弁、同報身ト云ヘ共、他受用トハ、他ノ為ニ好受用ト云心
也、譬ヘハ、花ガ開テ人ニ悟ラシ、又ハ薰風カ吹テ、(二
十八ウ)人ヲ夏涼シクスル如クニ、為人ノ體裁アルヲ、他
受用身ト云ナリ、

又入解脱国土中、

撈云、如何是解脱国土、

下 有生有死、

弁、解脱国土トハ、今日ノ国土ヲ云々、今日ノ上ニハ、生
スル者モアリ、死スル者モアル、其レヲ一句心得テ、解脱
スル也、本分上ニハ、解脱ト云事モ無也、十二時中、物ニ
繫縛セラル、二依テ解脱スル也、ホトニ、今日ノ国土ヲ云
也、

著光明衣、

拶云、如何是光明衣、

下 錦上鋪花、又、青黄赤白黒、

弁、佛祖ナトノ、黄ナ衣チヤ、香ノ衣チヤナト、云テ、
色々ノ衣ヲ結構ニシテキル処ヲ、光明衣ト云々也、色相ノ
上ノ事也、

説化身佛、

下 万里一条鉄、

弁、文殊・普賢モ、便化身、又今日ノ知識モ化身也、根本
本分上ノ、一塵一法モ無処カラ、今日コ、へ化身シ(二十
九才)出テ、人ヲ救事也、

師曰、此次ニ勝應身、可下吾、

下 常在於其中、經行若坐臥、

弁、行住坐臥、本分ニ安住シタ上テ、其レノ機々ニ
應ノ、直指為人スルヲ、勝應身ト云々也、

師曰、是ハ、好知識力、好學人ヲ接スル上ヲ云々也、

又、唱尤高、

拶云、如何是劣應身、

下 為他閑事長無明、

拶云、如何是無明、

答云、閑言語、

應身、

下 應病施藥、又、憐兒不覺酬、又、唱尤低、

弁、善知識ナラハ、何ト迷タ衆生テ在ラフトマ、棒喝ヲ
行シ成共、向上ノ事ヲ心得サセフトハセイデ、迷タ衆生ニ
高イ事ヲ説ケハ、心得又ホトニ、ト云テ、念佛・持經スレ
ハ、成佛スルゾナト、機々ニ應ノ説ク也、尚閑言語ヲ憎
長スルホトニ、劣應身也、(二十九ウ)

此三眼國土、皆是依变、

下 耳朵兩片皮、

弁、右カラ三眼國土ト云テ、色々ニ云々モ、本分上カラ見
レハ、独達ナラズ、物ニ依リ倚テ、色相ヲ色々ニ變轉スル
ヲ云々也、

求佛求法、即是造地獄業、求菩薩、亦是造業、看經看教、
亦是造業、

下 上無攀仰、下絶己躬、又、善因招惡果、

拶云、如何是惡果、

下 耳朵兩片皮、

弁、上無攀仰、ト云ハ、何事ヲ求ルモ、本分ノ眼カラ、

皆造業ト打掃テノケタ、又、善因招惡果ト云タハ、求仏求法、求菩薩、看經看教モ、先善因ナレ共、善ノ裡ウラハ惡也、皆色相ノ上造業也、

道流、夫大善知識、始敢毀佛毀祖、是非天下、排斥三藏教、罵(三十才)辱諸小兒、向逆順中覓人、

ト、老婆心切、

弁、佛祖ヲモ頭ニ置ズ、其上ヲモソシラフズ、天下ノ事ヲモ、惡処アラハ、是非セフズ、三藏教ヲモ排シ、シリソケフズ、諸小兒ヲモ罵ラフズ、諸小兒トハ、一團ノ無眼子ノワラベノ如ク、トハウモ無キ學者トモノ事ヲ云タ、左様ノ者トモヲモ、皆罵テ為人スル処ヲ云タ、向逆順 トハ、逆ニ接シ順ニ接シ、學者トモヲ種々ニ試ミ化度メ、其ノ中カラ人ヲ覓出ス也、

如芥子許不可得、

ト、上無難仰、下絶已躬、

弁、業性ヲ何ト求レトモ、芥子ホトモ無ト、本分ノ眼力ヲ截断シテ云タナリ、
你今用処、欠少什麼物、

ト、鑊湯無冷処、

弁、本分上三八、森羅万象、アルトアラユル物ヲ少モ欠カズ、マシリ物モナフ、本分一枚ト用ル也、(三十ウ)
智劍出来無一物、

ト、滴水滴凍、

弁、智劍ハ、吹毛劔チヤ、吹毛劔テ、一塵一法モノコサズ、截断シタ処ヲ下吾シタ、

明頭未顯暗頭明、

ト、万里一条鉄、

弁、明頭ト云ハ、色相チヤ、色相ハ、目ニ見ユル者チヤホトニ、明頭ト云タ、然レ共、落居本分チヤホトニ、不顯也、暗頭ハ、一条鉄也、暗頭明トハ、不見ノ処コソ、明ナ者ヨ、古人云、平常心是道、

ト、逢茶喫茶、遇飯喫飯、

弁、ソノマ、ヲ受用シタガ道チヤ、道ト云テ別ニハナイ、其低ヲ用、何ノ道理モナク受用シタガ、平常心是道チヤ、大徳、覓什麼物、

ト、截釘斬鉄、

弁、大徳ト諸人ヲ云タ、諸人、ナニヲ覓ムルゾ、ナンデマリ、覓メフ物ハ無ソト、截断シテ云タ也、(三十一才)
問、如何是心々不異処、師云、你擬問、早異了也之内、
向拘尸羅城、雙林樹間、側臥而死去、佛今何在、

ト、一失人身、永劫不傷、

弁、諸人ガ、佛ハ入滅ノ後モ、マダ于今佛ト云テ、有フ様ニ心得ルヲ、佛今何在ト云タハ、佛ハ、何クニモ無ソト、佛ノ入滅ノ処ヲ、證拠ヲ引テ云テ聞カセタ、是ハ林オノ本

分二成り切テ、我コソ眞実ノ佛ヨト云心ヲ以テ云ワレタ也、

古人云、如來拳身相、為順世間情、

下、拔釘拔櫛、

弁、佛ノ愛へ色相ヲ受ケ出現セラレタモ、世間ノ心ニ順セフスルガ為チヤ、先我カ一分ヲ世間ノ者ノ心ニ順メ置テ、サテ、其内二人ノ心ノ打破リ、氣ヲ專ニスル者ライマシムル也、人ノ上ノ釘櫛ヲ拔テヤルヘキ用処也、

師曰、今日ノ上八、明眼ノ掃絶メ置タ上カラ、却世間ノ情ニ順メ、物ヲ破ラヌガ、大明眼也、

恐人生断見、且立虚名、

下、耳朵兩片皮、又、六々卅六、

弁、諸人(三十一ウ)カ餘リ断見、空見ニ墮テ、何ト云事モ無ト斗心得ル、其見ヲ救フ為ニ、佛ニ色々ニ権リニ虚名ヲ立スル也、眞実ノ仏テハ無、色相ノ上ノ事也、假言三十二八十、也空声、

下、牙齒一具骨、又、閑事、

弁、カリニ三十二相ノ、八十種好ノナト、佛ノ名ヲツクル、皆空声チヤ、眞実ノ名テハ無也、今日ノ上ノ閑事也、有身非覺體、無相乃眞形、

下、甚刺語、

弁、前二虚名ヲ立スト云イ、八十也空声チヤチヤト云タ

テ、思様キコヘタヲ、有身ト云タハ、甚刺語也ト、コチノ眼力ヲ見タ事也、

被學人拈出个機權語路、

拶云、如何是機權語路、

下(三十二才) 月白風清、又、風颯々水冷冷、

弁、語路ト云ハ、機関ノ語ソ、機関・高上ヲ働クト云モ、落居何ノ道理モ無イ事也、其ノ何ノ道理モ無事ヲ言句ニメ、人ニ拈起メ問答スル事也、向善知識口角頭擯過、看你識不識、

下、撓鉤塔索、

弁、ナンテマリ、言句ヲ知識ヘナケカケテ、此知識ハ明眼力、不明眼力ヲ試也、擯過トハ、抛向シタ心也、把得便抛向坑子裏、

下、勸破了也、

弁、學人ノ句中ヲヨツク勸破シテ、思様打カ喝スルカメ、深坑ノ裏向ノ言句ヲ把テ、抛テノクル也、

學人便即尋常、然後便索善知識語、

下、青於藍(三十一ウ) 冷於水、

弁、尋常トハ、打トモ、喝スルトモ、動轉セヌ也、尚モ知識ノ振舞ヲ見フトカ、ツテ、再問メ、向ノ語ヲモトメタ也、依前尋之、

下 前箭輕後箭深

弁、再問ノ句中ヲ、思様打カ、喝スルカノ、奪テノケタ
ハ、初ノ一棒一喝ヨリモ猶ヲ深イ也、

學人云、上智哉、是大善知識、

下 慣戦作家、

弁、常ニ機關問答ニナシタ、學人チャニヨツテ、知識ノ邪
正ヲ能弁シテ、上智哉トホメアケ、大二墮サフトカ、シ
タ也、

即云、你大不識好惡、

下 頭正尾正、

弁、大善知識トボシ上テ云タニ、卒度モアカラズ、結句不
識好惡ト、ヲサヘテ云テ、底ニ托上シタ也、(33才)

如善知識、把出个境塊子、

拶云、如何是境塊子、

下 閑言語、

弁、境塊子トハ、對^{レル}人ニ問一答ニテ、言句ノ支也、塊
子トハ、ツチクレチャ、用ニ立又物チャ、捻^レ言句ト云物
ハ、根本ノ上カヲ見レハ、閑言語テ、用ニ立又物也、

向學人面前弄、

下 撓鈎搭索、又 探竿影中、

弁、師家カラ學者ヲ試ムルヲ云タ、弄スト云タハ、學者ヲ
如何ト試タ方也、

前人弁得、下々作主、不受境惑、

下 勸破了也、又 來風深弁、又 鑑在機前、

弁ニ、本分ニ乘リ得タ上テハ、向カ何ト機關向上ヲ働ケ共、
其ノ圈續ニ墮又也、是力、不受境惑也、(33ウ)

善知識、便現^(即脱)半身、

下 師子咬人不露牙、

弁、上八実ニ云テ、底ハ、句中カ有、祖師西來意ト問ハウ
トモ、佛ト問フトモ、上八実テ、底ニ句中カ有ソ、現半身
処ハ、実ソ、半身見エ又処カ、句中ソ、上ハナルト云
テ、底カヲソロイソ、

學人便喝、

下 前箭輕後箭深

弁、前下々作主、不受境惑ト云句中ヨリモ、爰テ喝シタハ、
猶モ深イソ、

善知識、又不入一切差別語路中擺撲、

下 重疊閑山路、

弁、前ノ言句トモヲ、コツト打掃テ、又重テ問タ、
學人云、不識好惡老秃奴、

下 慣戦作家、又 一手擡一手擡、

弁、機關ニナレタ學人チャニヨツテ、師家ノ上ヲモ、コチ
カラ不知好(34才)惡老秃奴ト抑^レ、尚ヲモ如何ト看テ、
底ハ知音ソシタ抑揚也、

善知識歎曰、真正道流、

下 得人一牛還人一馬、

弁、真正道流ト、思様學人ヲ托上ノ云タハ、底力、抑下

シタソ、前不識好悪老禿奴ト抑下ノ云タヲ、思サマ托上シ

タハ、底力、抑下シタソ、云イカヤイタソ、

手上出来手上打、口裏出来口裏打、眼裏上来眼裏打、

下 初三十一中九下七、

弁、手裏出来トハ、模様ヲナシ来テヲ云タ、口裏ニ出来ト

ハ、語言三昧ヲ云タ、眼裏出来トハ、六十二見ナト、受用、

見地タテヲ云ヲ云タ、サテ、根本ノ眼カラ看レハ、何ノ

模様ヲ作フ事モ、問フヘキ事モ、見地・受用ト云事モ有テ

(34ウ) コソ、皆色相ノ上ト看テ打タ也、此句ハ、初中後

ヲ下語シタ也、

山僧無一法与人、祇是治病解縛、

下 漏逗不少、

弁、皆毎レ人佛法ト云テ、与レル人事ガ有フ様ニ心得ルヲ、佛

法トハ、何ノ道理モ無事チヤト為人スルハ、譬ハ病ノ惑ヲ

受テ居ル者ニ与レ薬、其病ヲ治シ、又ハ縛リク、ラレテ居

ル者ノ寮ヲ解テヤツテ、クツロガスル如クニ、師家カラ人

ヲ接スル事マデ也、是ノ理ヲ以テ、漏逗不少ト下吾シタ、

下 傍家擬求什麼物、瞎漢、頭上安頭、

下 迷己逐物、

弁、根本ノ上ニ、何事力在テ求ムルソ、皆瞎トモガ、己レト迷テ探リ求ムルソ、頭上安頭トハ、演若達多力、在ル頭ヲ無ト云テ、嘆息シタ様ナ事也、

道流、是你目前用底、与祖佛不別、

下 佛是西天老比丘、

弁、是ハ、一段高キ用也、今日用ル処ハ、祖佛モ我モ、同

者也、佛モ(35才)色相ヲ受レハ、我モ色相ヲ愛タ者チヤ、

佛チヤト云テ、別ノ用イモナシ、佛モ我モ用ル処ハ一ツ也、

迷人ハ、佛ト我ト別ニ用ル也、不別処、截断也、悟了同未

悟ノ上カラ如此看タ也、

你取山僧口裏語、不如休歇無支去、

下 老倒踈慵(懶)無支日、安眠高臥對青山、

弁、取ランヨリハ、ト云点ノ时ハ、林オノ意ニ、我カ六ヶ

惜イ言句ドモヲ聞取テ、頭ヲツキ入テ用ハ、只何事モ打ヤ

メテ、高枕ノ、腹打サスツテ居タニ、シク事ハ有ルマイソ、

ト云タ心也、又、取テ、ト云点ノ时ハ、我言句ヲ能ク聞キ

取テ、世上ノ佛法三昧ヲ、サツト休メテ、安眠高臥ノ、休

歇ノ田地ニ到タホトナ事ハ有ルマイ、ト云タ心也、

思衣羅綺千重、思食百味具足、

下 鑊湯無冷處、(35ウ)

弁、交リ物モナフ、ナニモ本分一枚ト用得タ上ニハ、本分

ヲ以テ、何ニモ使ホトニ、思衣 思食 スルソ、其ノ

外、何テマリ、不自由ナ事ハ無也、

古人云、心随万境轉、

下、逢茶喫茶、逢飯喫飯、又、飯來開口、開來打眠、

轉処実能幽、

拶云、如何是轉処、

下、實能幽、又、無形本寂寥、又、千眼看不見、

拶云、幽ナリトハ、何ソ、

弁、本分ヲ用テ、ナセニナレハ、幽処ハ目ニ見エ又者チヤ

ホトニ、本分ニ用テ、

随流認得性、無喜亦無憂、

下、當頭霜夜月、任運落前溪、

弁、随流ト云ハ、生死ノ流ソ、今日生死ノ流ニ随イ来テ、

一句悟得テ、法性ヲ認タレハ、何ノ道理モナフ、喜ト云事、

又憂ト云事モ無也、今日ノ(36才)上ハ、月ノ東カラ出テ、

定テ西ヘ落ト同事也、

師曰、任運ト云字、肝要也、任運ニト、愛テ、私ノ点ニ可

讀、任運トハ、自然ニト云心也、

道流、如禅宗見解、死活循然、

下、鑊湯無冷処、

弁、禅宗ノ用ハ、何ヲモ本分一枚ト、マシリ物モ無ソ、用

テ自由自在ナ上カラハ、本分ガ死ニモ活ニモシタガフ也、

其レヲ循然ト云タ也、少モ滞ラハ、禅宗デハ有ルマイ也、

參學之人、大須子細、如主客相見、

下、月白風清、

弁、好師家ト、好學者トノ相見チヤホトニ、何ノ道理モ無

也、一問一答シテ、互ニ勘弁シアヘトモ、何ノ道理モ無処

ヲ用テスルホトニ、果ソ道理力無也、

便有言論往来、

下、答在問処、問在答処、又、如鐘在扣、

弁、言論往来トハ、互ニ問答ソ、勘弁シヤフヲ云ソ、

或ハ應物現形、

下、應以佛身得度者、即現佛身而以說法、應以声聞得度者

即現声聞身而以說法、

弁、今日善知識ノ上テ為人スルニ、人ノ分濟ヲ看テ、ソ

レノ二應ソ、現形說法スルヲ云也、或ハ以佛身得度ス

ヘキ者ニハ、現佛身說法、以声身聞得度スヘキ者ニハ、現

声聞身說法スル也、其外、向ノ機々ニ應ソ、色々種々様々

ニ現形說法シテ、此本分ト云者ハ、何ノ道理モナク、有リ

ノ俚ナ処ヲ知ラシメフトル、是乃應物現形為人也、

或全體作用、

下、万里一条鉄、

弁、全體ハ、五體六根デ、万里ノ境界チヤ、作用トハ、今

日ノ上ヲ、本分一枚ニ用テ、色相モ本分チヤト云タ時ハ、

一条鉄ソ、全體八万里ノ方、作用ハ一条鉄也、

或把機權喜怒、

下 真不掩偽、曲不藏直、

弁 喜怒トハ、曲直也、面ムキ実ノ様ニ、權ノ方ヲモツ

ガ、喜怒也、(37才)

或現半身、

下 藏身露影、

弁 面ハ本分、現成ノ上ヲ露ト問テ、底ハ句中ヲ推藏ス処

ガ、半身藏テ半身露夕也、

或乘師子、

下 牙如劔樹、口似血盆、

拶云、意旨如何、

答云、誰敢近傍、

師曰、是ハ、文殊ニ成切夕竟界也、

拶云、如何是文殊、

答云、賣劔光冷、

弁 文殊ハ、智恵力本也、智劔ヲ以テ、何ヲモ截断ノノク

ルガ、文殊ノ體裁也、同本分ナレ共、截断ノ方ノ有ルヲ、

文殊ト云夕也、ホトニ、賣劔光冷ト用夕也、

或乘象王、

下 白漫々、

師曰、象王ハ、白象トテ、全體白イ者シヤホトニ、本分ニ

用夕、是モ普賢ニ成切夕竟界也、

拶云、如何是普賢、

下 十方世界現半身、

師次ニ話曰、世尊力、普賢力、文殊ノ上ヲ、戒定恵ノ三ツ

ヲ以テ心得ル也、戒ト云ハ、世尊ノ上也、今日ノ知識(37

ウ)ノ人ヲ戒メ、為人スルモ同事也、何モ種々ニ、本分

ハ引入ル、也、定ト云ハ、普賢ノ上ヲ云夕也、常ニ本分ニ

安住ノ居ル処力、定也、恵ト云ハ、文殊ノ上也、文殊ハ智

恵ヲ以テ、何ヲモ截断シテノクル処力、恵也、ホトニ、愛

ハ、戒定恵ノ三ツヲ以テ、佛夕チノ上ヲ心得ル也、

如真正学人便喝、

下 撓鉤搭索、

弁、一喝ノ學者カラ、知識ノハタラキヲ如何ト看也、

先拈出一个膠盆子、

下 閑言語、

弁、閑言語ヲ以テ、人ヲ試ムル、六ヶシイ句中ハ、膠ヲト

キ入夕盆へ、頭ヲツキ入夕様ナ也、

又 一畝地三蛇九鼠、

善知識不弁是境、便上佗境上、作模作様、

下 棺木裏腫眼、又 狂狗趁塊、

弁、悪知識力、好學者ニ違テ、問答シテ、言句ニ(38才)

ツマツテ、何トモセフ様力無フテ、模様ヲシツナンドスル

也、徳山林オノ様ニ、棒喝ヲ行ジツナトスルコソ、衲僧ノ

振舞ナレ、言句ニ付テツマツテ、模様ヲスルハ、狂狗趣塊
夕者也、

學人便喝、

下 痛処下針鋒、

弁、作模作様、短処ヲ喝シテ心得サセフトカ、ツタ也、

前人不肯放、

下 駟擇濕処尿、

弁、前作模作様ヤフヲ、チツトモ離レス云タ、駟馬ト云物
ハ、前小便ヲシタ処ヲ嗅知テ、モトノ処ニ小便ヲスル物チ
ヤ、其如ク、教意ヲナス知識ハ、チツトモ本ノ事ヲ、エハ
ナレヌソ、轉処力、チツトモナイソ、前ノ事ヲ離レス、作
模作様処ヲ、響ヘテ駟扱 ト云タ也、
此是膏肓之病、不堪醫、喚作客看主、

下 拋款結案 (38才)

弁、前クダリノ惡処ヲ、今爰テ、一度ニ過ヲ結ソ云タ、
左様ノツレノ者ハ、何ントシテモ、エ心得ヌ者也、膏肓ノ
病ノ、何共醫シラヌト同事也、カクアル時ハ、學者カラ師
家分上ヲ見得スル儀也、

隨學人問処即響、

下 手上出来打手上、口裏出来口裏打、眼裏出来眼裏打、
弁、何ト様ニソ、問来フトモ、其レノ上テ打テノク
ル処ヲ、隨學人問処響ト云タ也、

學人被奪 抵死不放、

下 到不知非不足醫、

弁、打殺スレ共、終工心得ヘヌ也、

此是主看客、

下 拋款結案

弁、爰テ、主トハ、明眼ノ師家チヤ、客トハ、惡イ學者チ
ヤ、其ノ幸者^(二五)、白狀サセテ、過ヲ結スル也、
或有學人、應一个清淨境、

撈云、如何是清淨境、

下 (39才) 綠水青山、ヌ 千眼看不見、

弁、清淨境トハ、人ニ對スル物ヲ云タ、山テモアレ、水テ
モアレ、何テ成共、現成シタ物ヲ云タ也、又、千眼
ノ下吾ノ時、清淨境ト云ヲ、本分ニ用タ、是ハ、少次ナト云
事也、

出善知識前、

下 這老賊、

弁、如何是祖師西來意、ヤレ如何是面目ナト、何ノ道理
モナフ、問様ニソ、底ニソロシイ賊機關ヲ以テ、知識ノ
深淺ヲ如何ト試処ヲ云タ也、

善知識弁得是境、把得拋向坑裏、

下 從門入者早知來見解、

弁、何ト様ニ問来レ共、頓テ其句中ヲ勘破シテ、棒喝ノ商

量ニ涉テ、令ヲ行シタ処ガ、抛向坑裏シタ者也、

孝人云、大好善知識、

下、只許老故知、不許老胡會、

并、大好善知識ト、思様托上シタ処テ、自然ニ抑下力有ル

也、抑揚シテ、如此云タ也、(39ウ)

即云、咄哉、不識好惡、

下、攀來陽報、

并、大好ナルカナ、善知識ト、思サマコチ揚ケテ云タヲ、

揚ゲラレテイマイト懸テ、其ノサフタフニ思サマ抑下メ、

不識好惡ト云タ、抑下シタレ共、底ハ揚也、是モ抑揚也、

孝人便禮拜、

下、頭正尾正、

并、好キ学人チヤニヨツテ、前クタリ、越度モ無ク、好ク

振舞タ也、

此喚作主看主、

下、拋款結案、

并、是ハ、好師家ト、好学者トノ問答チヤニ依テ、互ニ見

尽シヤウタ也、抑スヘキ処ハ抑シ、揚スヘキ処ハ揚シ、打

ヘキ処ヲハ打、喝スヘキ処ハ喝シテ、互ニ勝負ヲ結ル也、

或有孝人、披枷帶鎖、出善知識前、

下、向鬼窟裏作活計、

并、披枷帶鎖トハ、頸カセニ入テ、シハリカラケラレタ

ル様ニ、或ハ教意ニ惑セラレ、或ハ言句ニ縛セラレ、色相

ニ惑セラレテ、知識ノ前へ出ルヲ(40オ)云タ也、

善知識更与安一重枷鎖、

下、駟事未去、馬事到来、又、泥裏洗土塊、

并、イト、無眼子ノ學者ニ、瞎知識ガ出テヤフテ、尚一重

色相ニ縛セラレタ支ヲ示ス也、五戒ヲモ能持テ、看經看教

ヲモ能勤メヨ、サスレハ、成仏スルソナト、云也、イト、

教意ニ縛セラレタ学人ニ、尚其ノ様ナ支ヲ示スハ、泥裏

洗土塊者也、駟事、ト云モ、同意也、

學人歡喜、彼此不并、

下、這死蝦蟇、

并、目クラ知識ガヌルイ事ヲ示スヲ、一段殊勝ニ御座アル

ナト、喜也、終ニ活処ヲハ不知、教ニ頭ニツキコフテ居ル

也、死蝦蟇ト同事也、

呼作客看客、

下、拋款結案、

并、是ハ、主ノ看ル主ト云処ノ拋款結案トハ、裏面テ也、

爰ハ、瞎知識力、瞎学者ニ對メ、ソバツラナ(40ウ)事ハ

カリ云テ、利非ヲ結スル也、

無一箇形段、歴々孤明、

下、頭上漫々、脚下漫々、又、當軒大坐、

如道一和尚用処、純一無雜、

下 乞兒弄飯椀、

弁、馬祖ノ用ハ、純一無雜ニ本分ヲ能自由ニスル也、賊機
関ヲ用ルト云モ、一个ノ人ヲモ純一無雜ノ境界ニ到ラシメ
フ為也、馬祖ノチツトモ雜用心無ク、純一無雜ノ境界ニ乘
リ得ル蹤跡ハ、西江水ニテ闡ヘタ、乞兒弄飯椀トトハ、乞
兒ハ打成一片ニ食イ物ノ事斗ヲ思也、馬祖ノ純一無雜ノ竟
介ト同事也、

如庐山和尚、自在真正、順逆用処、

下、我為法王、於法自在、又、寶劔在手、殺活臨時、又

建立由他、勦蕩由他、

弁、本分ヲ能用切(41才)テ、ナニモ自由三昧ニ用ル也、
建立モ本分カラ建立、掃蕩モ本分カラ掃蕩スル也、本分ヲ
自由自在ニ用切タ上ハ、順ニ用共、逆ニ用共、マ、也、
如丹靄和尚、翫珠隱顯、

下、黑如漆明如日、又、明浩々暗昏々、

弁、珠トハ、本分ヲ云タ、隱トハ、本分ハ無者ヨト為人シ、
顯トハ、本分ハ法界ニ弥綸シテ有ル者ヨト為人シタルガ、
翫珠隱顯也、如此翫トハ、本分ヲ自由三昧ニ用ルト云心也、
如麻谷用処、苦如黃蘗、

下、毒氣傷人、

弁、麻谷和尚ハ、天然機關ニ乘得テ、イカニモ毒々シフ辛
刺二人ヲ接セラル、也、ソコヲ苦如黃蘗ト云タ也、

如石鞏用処、向箭頭上覓人、

下、一箭兩垛、

弁、石鞏ハ、看_レ箭ト云テ、向ノハタラキヲ如何ト看タ、
ヲソロシイ心ノ有ル方ト、又(41ウ)射テ後ハ、蹤跡ノ無
処、便本分ヲ為人シタ方也、然レハ、權實アル処ヲ兩垛ト
用タ也、

如山僧今日用処、真正成壞、翫弄神变、入一切境、随处無
事、

下、豎窮三際、横該十方、

撈云、意旨如何、

下、違茶喫茶、違飯喫飯、又、飢來喫飯、困來打眠、

師曰、初ノ本文ヲ一々弁来、

弁、真正トハ、真正ノ見解ヲ能用ル也、成トハ、成就ノ意
デ、建立ノ方、壞トハ、破ルデ、掃蕩ノ方、玩トハ、本分
ヲ一生ノ間翫也、弄トハ、機關ヲ弄テ、学者ヲ惑乱ソ如何
ト試ル也、神变トハ、神通遊戲三昧ノ境界也、建立スルカ
ト思ヘハ、躡テ勦蕩シ、勦蕩スルカト思ヘハ、ヤガテ翫
翫フカト思ヘハ、弄シテ一偏ニ無処方、神(42才)变也、
入一切境、随处無事トハ、何タル境界ヲ用イヤフトモマ、
落居何ノ道理モ無也、八境界、千境界備テ用レ共、果ソ何
ノ道理モ無処ヲ肝要ニ用ルガ、臨濟ノ境界也、餘ノ尊宿達
ハ、皆一方ムキニ用ラル、也、林才ノ八境介、千境介共ニ

自由自在に日二用テ、チツ共ソコニト、コヲラス、纏テ何ノ道理モ無也、ホトニ、違茶 也、
三法混融、和合一處、

下 万里一条鉄、又 充塞六合、

弁、三法ト云モ、色相ノ上ノ事、ソレヲ其根本分一枚ト用タ処力、和合一處也、三宝ト云ハ、佛法僧ノ三寶也、左様ノ上ヲ尽マシリ物モナフ、本分一枚ト用タ処力、和合一處シタ者也、ホトニ、充塞六合共、下吾シタ也、
問、如何是真佛真法真道、乞垂開示、師云、佛者心清淨是ノ内、

如真正作道人、念々心不間断、

下 佛祖不識、

弁、心ト云者モ無者、又、本分ト云者モ無者也、心ト性トハ、間断ガ無也、心ト性トノ上ハ、佛(42ウ)祖モ思量ニ不涉也、

若第一句中得、与祖佛為師、

撈云、如何是第一句、

下 真不掩偽、

弁、第一句ト云ハ、賊ヲ云タ、受用ニ涉ル、ツレノ僧ハ、祖佛ノ師トハ成ルマイソ、本分・現成・色相ノ三竟ヲ踏ミ去テ、賊ヲ以テ邪正ヲ試タコソ、第一句ヨ、此竟界ヲハ、三世歴代ノ佛祖モ、難竊也、然則、祖佛ヲ八下ニ見ルホト

二、与祖仏為師ト云タ也、真不掩偽ト下吾シタ心ハ、真實ヲ專ニスル上カラハ、賊、偽ノ上ヲハ掩イ妨ケマイソ、ト云心也、

若第二句中得、与人天為師、

撈云、如何是第二句、

下 曲不藏真、

弁、第二句トハ、截断也、林才モ平生截断ヲ肝要ニ用タ也、截断ヲ肝要ニ用得タ也、截断ヲタニ用得タラハ、人天ノ師トハナラフ也、直トハ、直截トテ截断也、曲不藏直トハ、直截ノ上カラハ、何ヲモ(43オ)用イヌホトニ、曲ノ上カラモ、直截ノ上ヲハ、工藏サヌ也、ホトニ、人道・天道ヲ八下ニ見ヘキ也、

若第三句中得、自救不了、

下 一一三四五、々四三二一、

弁、第三句トハ、看經・看教、無念行道ノ、色相ヲ截断セヌヲ云タ、コノツレノ僧ハ、人天ヲ救フ事ハ及モノシ、吾ガ生死ヲサヘ截断セヌ也、一生順逆ノ中ニ、頭ヲツキ入テ居ルマテ也、ホトニ、一一三四五、々四三二一ト下吾シタ也、

撈云、畢竟如何、

下 老婆心切、

弁、畢竟林才ノ心ニ、始カラ第一句ノ、第二句ノ、第三句ノ

ノナト、次第二道イ分テ、境界ノ高下在ル事ヲ、諸人ニ知ラシメン為ニ、老婆心切テ道ワレタ事也、

此間問、如何是西來意、師云、若有意、自救不了、云、此一則無參得不審、

問、大通智勝佛、

撈云、如何是智勝佛、

下、天上天下唯我独尊、又、光明無背面、

并、本分ヲ指テ智勝佛ト云タ也、(43ウ)

十劫坐道場、

下、亘古亘今、又、當軒大坐、

并、過去久遠劫ヨリ尽未來際ニ至ルマテ、増減無ク、大坐シテアルヲ云タソ、

佛法不現前、

下、這老賊、

并、佛法不現前トハ、現前セフスル佛法ガ有フ様ニ云タカ、賊也、林オノ眼ヨリ如此賊ト看タ事也、

不得成佛道、

下、車不横推、

并、根本ノ上ニ佛道ト成ルト云事ハ無ト、羸直ニ云タ也、

師曰、此様ニ、逐ニ下吾セイデ、ヒツクルメテ、不得成佛道ト云処ニ下吾シ来、

下、充塞六合、

并、此時ハ、智勝佛ト、先云イ出テカラ、何タル境界ヲ用ルモ、自由自在ニ、皆本分ニ歸スルホトニ、充塞六合ト下吾シタ也、

一心不生、万法無咎、

下、月白風清、

并、咎ト云事ハ、皆心ノ成スワザ也、其心ト云物カラ、元來無者チヤホトニ、万法ノ上ニ、ソツトモ咎ハ無ソト、(44オ)羸直ニ何ノ道理モ無フ云タ也、

問、如何是五無間業、師云、殺父害母出仏身血ノ内、便處々黑暗是出仏身血、

下、万里一条鉄、

并、仏身血ト云処カ、五逆罪テ、色相チヤ、処々黑暗ト云カ、本分チヤソ、

如善星比丘、解十二分教、生身陷地獄、

下、為佗閑事長無明、

撈曰、如何是無明、

下、閑言語、又、向鬼窟裏作活計、

并、教者カ十二分教ナト、云事ハ、随分ト心得テ、オノレト教惑ヲ受ルヲ、生身陷地獄ト云タ也、

不如無事休歇去、

下、違茶喫茶、違飯喫飯、

并、本分ニ安安坐シテ、大隙明ケテ、十二時中、即今々々

ノ上ヲ、道理モ無フ用タカ、休歇ノ田地チヤ、ノトガ乾ケ
ハ、湯茶ヲノミ、ヒタルケレハ、飯ヲ食フ様ナ事マテ也、
如此糞直ニ、在リノマ、ニ用ルニ、シク事ハ無也、

勘辨

黄檗、因入厨次、問飯頭、作什麼、

ト、撓鉤搭索、

飯頭云、棟衆僧米、

ト、有問有答、又、答在問処、

黄檗云、一日喫多少、

ト、問在答処、又、因風吹火、又、看風使帆、

弁、ヲソロシイ衆カヨリヤフテ、上ツラ八平々ニ棟衆僧米

ト云ニ因テ、喫多少ト云タヤフナレ共、底ニ段ヲソロシ

イ機カアル也、無眼子モ、カフ云フスレ共、ソレトハ、天

地懸殊ナリ、

飯頭云、二石五、

ト、初心不改、

前ノ鋒ヲ不改、上ヲバナルノト答タ也、

黄檗云、莫太多麼、

ト、青於藍、又、重疊関山路、

弁、平二八云へ共、度力重レハ、次第二句中カ、フカフナ

ルソ、

飯頭云、猶恐少在、

ト、冷於水、又、觀機無改路、

弁、コ、テモチツトモ(45才)不覆鋒鈍、平々ニ莫太多麼

ト云ニ因テ答タ、

黄檗便打、

ト、不謬為黄檗、

弁、初カラ喫多少ト問へハ、二石五斗クイ候ト云イ、無太

多(マ)麼ト、其レハ事ナイ事デハナイカト云下タテ、猶恐少

在ト、其レサエスクナイト存候ナト、底ニ句中ヲ以テ、

面向八平々、互ニ此マテハ、句中ヲ頭サナンタガ、飯頭ガ、

句中ガ重リモツテイク処テ、黄檗ノコラエ裏ガキレテ、爰

テ機鋒ヲ頭テ、打タソ、カフ振舞ワイデ叶又処ソ、黄檗ナ

レバコソ、打レタレ、

飯頭却拳似師、

ト、一回拳著一回邪、

弁、初ノ古則ナレ共、又別ノ処工持テイテ問へハ、又花々

シフナルソ、

師云、我為汝勸這老、纔到侍立次、黄檗拳前話

ト、重事生也、

弁、公事ナトノ一果ハタタニ、又起シタイタヤフナ意ソ、

(45ウ)

師云、飯頭不會、請和尚代一轉語、師便問、莫太多麼、

ト、捉襟見肘、

弁 飯頭力、不會程、和尚代テ被仰ヨト云テ、黄檗ノ上
ヲ如何ト被留テ見夕、

檗曰、何不道、来日更喫一頓、

下 生姜終不改辛、

弁 初飯頭ニ違テノ辛サヲ、臨濟ニ違テモ、チツトモ不改
也、何不道、来日更喫一頓トハ、莫大多麼ト云下テ、飯頭
力猶恐少在下云フヨリモ、即今和尚ヲ打チ申シタケ共、
師家ナル程ニ、ユルシ申ス、明日一頓棒ヲ与へ申サフト、
ナセニ飯頭ガイワナシタソ、ト云心ニ、飯頭ニ代テ云夕、
師云、說什麼来日、即今便喫、道了便掌、

下 真獅子児、好獅子吼、又 獅子窟中獅子、

弁 黄檗ノ来日更 ト云タラハ好カラフト、(46才)云
レタレハ、林才ノ、何ノアスト云支力有フゾ、手ノヒナ事
哉、只今喫セヨト云テ、掌シタハ、サリトテハ、黄檗ノ真
弟子ノ林才ナレハコソ、此様ナ振舞ヲバシタレ、ト云心ニ、
真獅子児、好獅子吼ト下吾シタ也、

黄檗云、這風顛漢、再来這裏捋虎鬚、

下 憐兒不覺醜、

弁 例ノソラ物狂ノヤフナヤツガ来テ、我ヲナフルヨト云
タハ、許多肯テ慶揚シテ云ヘリ、爰テハ、マダモ峻峻
ニ、猶モ見尽サフ処ヲ、餘リ早ク肯イ過イタハ、憐兒夕
者哉ト、コチノ眼カラ見テ下吾シタ、

師便喝出去、

下 頭正尾正、又 作家、

弁 一掌ヲ与タ下テ、黄檗ノ伎倆ヲモダサズ、這風顛漢
鬚ト愛メ云タルヲ、チツトモノリミツニナフ、團續ニ
ヲチズ好喝セラレタ、サテモ首尾備夕(46才)振舞哉、
後瀉山問仰山云、養子方知父慈、仰山云、不然、瀉山云、
子又作麼生、仰山云、大似勾賊破家、

下 夜深共見千岩雪、話尽山雲海月情、

弁 見黄檗臨濟師弟、互機關問答シタ上ヲ、賊ヲ引テ家ヲ
破タ物ヨト、二尊宿ニ能知音メ、上ツラハ抑シタ様ニ云
ワレタ也、ホトニ、夜深 月情也、

師問僧、什麼処来、

下 似要知来処、

弁 来処ニ用処ナシ、此僧ヲ如何ト試問夕、
僧便喝、

下 鑑在機前、又 勘破了也、

師便揖、坐セシム

坐セシムノ時ハ、低頭問訊ソアレ、御入アレト請入レタ
心也、揖坐スノ時ハ、師ノ揖メ坐シタナリ、

下 平地隔人、

弁 爰テ(47才)ハ、喝スル力、伎倆ヲ出テ振舞フ処ヲ、
一向ニ格外ニ、此僧ヲ結構ニアイシラフテ、手ヲウシナフ

セフトカ、ツタハ、許多落シ入レタ者也、是八林オノ格外ナ、一段面白イ振舞ヲセラレタトノ沙汰也、僧擬議、

下、索短難到深泉

弁、餘リ林オノ格外ナ振舞ヲセラレタニ依テ、トツテニハグレテ、チャツト擬議シタ、サノミ不足ニハナイ也、サリナカラ、マチツト機アル僧ナラハ、如何様、何トソ働フニ、擬議シタハ、不足ナソ、

又、龍頭蛇尾、

是モ、尾タレナ処ヲ下吾シタ、先師ノ義ニモ、擬議シタモ、餘議モナイ、爰テハ、何タル好僧モ擬議セイデ叶マイ、餘リ格外ナ振舞ヲセラレタホトニト也、

又、迅雷不及掩耳、

弁、揖坐シタハ、思ノ外ナ振舞ヲセラレタ処テ、チャツトツマツタ、迅雷ニハ耳ヲ掩フ間力無如ナト云義也、(47ウ) 師便打、

下、踞虎頭収虎尾、又、抛款結案

弁、此僧ノ擬議ヲ打タガ、踞虎頭也、収テ打タ処カ、収虎尾也、

又、痛処下針錐、

此時ハ擬議ヲ打チ知シメフトカ、ツタ也、師見僧來、便豎起拂子、

下、知來処、

此句ハ、來リ処ヲ知ト云ニアラズ、向ガ何タル機テ來タ心ヲ、能知タ也、此僧ハ、如何ホトナ僧チヤト、ヤカテ見テ、打物ノサヤヲハツス心也、如何様、終ニ打ンカ為ソ、

又、拂子頭上有眼、

弁、底ニ本分ヲ為人シタ心カ有ルホトニ、有眼ト云タ、是ハ近イ先師ノ下語ソ、僧禮拜、

下、會話頭、

弁、拂子ヲ豎起シタ境界ヲ會得シテ、禮拜シタ底ニ、ヨソロシイ機アル也、冷イ禮拜也、(48オ) 師便打、

下、頭正尾正、

弁、初カラ打ヘシト覚悟シテ、終ニ打タ也、又見僧來、便豎起拂子、

下、知來処、

弁、同前、僧不顧、

下、會話頭、

弁、前ノ僧ハ禮拜シ、此僧ハ不顧、模様ハチカフタレ共、話頭ヲ能會得シタ上カラ、振舞タソ、拂子ノ方へ、ソツ共目モ見ヤラナンタ也、

又先師ノ下吾ニ、風光可愛、

弁、此僧力能會得シタ上カラ願ミザル処ハ、一段風韻ナ、面白イ振舞ソ、初ノ禮拜シタヨリ、許多僧シタソ、師亦打、

下 頭正尾正、

師一日問普化、赴施主家育次、師曰、毛吞巨海、芥納須彌、為是神通妙用、本跡如然、

下 携鉤搭索、

弁、毛吞 ト云句ガ有力、奇特神変ナ事力、又根本ノトニモカヤフノ事ガ、ヨリヤリサフカト、先一句ユイカケテ如何ト鉤試タ、

普化蹈倒飯床、

下 當機觀面、

弁、向ノ機ニ當テ、便蹈倒飯床シタ也、師云、太庵生、

下 青於藍冷於水、

弁、太庵生トハ、アラノシイ振舞哉ト云心也、初ヨリモ猶ヲソロシイ深心也、

普化云、這裏是什麼所在、説庵説細、

下 猶欠一着在、

弁、根本ノ上ニ、什麼ノ庵チヤ細チヤト云事ガアラフソト、爰テ受用ダテヲ取出テ、機関ヲ欠タガ、尾タレナソ、

(49才)

師来日、又問普化赴育、問、今日供養、何似昨日、

下 觀機無改路、又、初心不改、

弁、昨日ノ句中ヲ不改問タホトニ、

普化依前蹈倒飯床、

下 一点水墨、兩処化龍、

弁、前ノ振舞ヲ、又爰テモシタホトニ、兩処化龍也、

師云、得即得、太庵生、

下 前箭輕後箭深、

弁、得即得ト云タハ、チツト鼻ニノセタ意ガ有ソ、一段作家ヨイ振舞ヲシ得事ワシ、得事ワ得タレ共、サレ共、アラノシイソト云テ、鼻ニ戴タ処カ、一段深イソ、

普化云、瞎漢、佛法説什麼庵細、

下 兩々三々同路行、又、惱乱春風卒未休、

弁、終ニ受用ニハカリ立ノツテ、同シ事ヲ云タホトニソ、十分ニナイト云事テコソアレ、カフモコソイワフスレ共、衲僧ノ眼カラシテ、カフト下吾シタ也(49ウ)

師乃吐舌、

下 知法者懼、又、舌頭有骨、

弁、普化ノ能ク振舞タ処ヲ懼テ、舌ヲ吐タ、議理・法度ヲ知タ者ハ、懼ルヘキ処ヲハ、ヨソル、者ソ、林才毛法ヲ知テ、懼テ吐タ舌、並化ノ初カラ用イダテナ事斗ヲ云テ、爰

二機関ヲ欠テ、尾垂ナ処ヲ不足ニ思テ、底ニ八瞞却^レ、吐舌^レ処有骨也、

師一日、与河陽木塔長老、同在僧堂地炉内坐、因説、普化毎日在街市、撃風撃顛、知他是凡是聖、言猶未了、普化入衆来、師便問、汝是凡是聖、

下、撓鈎搭索、又、當機觀面、

弁、普化ノ来ラレタ処テ、八タト問タ、是凡力は聖力、貴方ハ悟タ人力、悟ラヌ人力、ト云心也、

普化云、汝且道、我是凡是聖、

下、觀面當機、又、还把鎗頭(50才)、倒刺人来、

弁、貴方道、我ハ悟タ者力悟ヌ者力、ツ、還テ、句ノ一問ヲヲツ取テ、結句向イヲ如何ト看タ也、

師便喝、

下、勘破了也、

弁、普化ノ言句ヲツ、カヤイテ、如何ト見ラレタソ、能ク勘破シテ、當^レ機喝セラレタソ、

普化以手指云、河陽新婦子、木塔老婆禪、臨濟小厮兒、却具其一隻眼、

下、一手擡一手擡、

弁、河陽ハ、新シイヨメガ、シウトメニヲチツマツタヤフニ、話セヌ、木塔ハ、齒ノ欵タ婆子ガ、子ヲ膝ノ上ニ置テ、物ヲク、ムルヤウナト云イ、臨濟ハ、小賢イワラフベト云

イ、隻眼ガアイタト云イ、三人ナガラ思様抑下^レ云タ、底ニ八何モ知音^ノ托上シタ、三人共ニ抑下シタ内ニモ、林オヲハ一段梵天ニ托上シタト、辞ニモ(50ウ)聞ヘタソ、捨別向イノ好イ振舞ヲシタ事ヲ、思様抑^レ云イ、向イノ落度ナ処ヲモ托上^レ云テ、向ノ機用ヲ如何ト見力、衲僧分上、尋常ノ茶飯ソ、爰モ、面ハ抑、底ハ托上^レ云タ也、

師云、這賊、

下、捉敗了也、又、賊知賊、

弁、這賊ト云テ、盗人ヲ捉工顯ヌ意也、普化ノ賊心ヲ、クワラリト云イ顯ワシタ也、

普化云、賊々、便出去、

下、夜深共見千岩雪、

弁、林オノ、這賊ト捉工顯カイト云タホトニ、コチガ賊ナラハ、ソチモ賊ヨト云テ、互ニ賊心ヲ見尽シヤフテ知音^ノ云タ也、

又、龍戲滄海、虎嘯南山、

是モ、初カラノ互ノ遊戯三昧ヲ、此テヒツクルメテ下吾シタ、(51才)

一日、普化在僧堂前、喫生菜、

下、這風顛漢、

弁、普化ノ僧堂前テ、ナマシイ菜ヲカジ^レトカフデ、諸人ヲ如何ト看タ、某ヲコチカラ、サテモ迂活ナ振舞ヲスル

僧哉ト見テ、如此下吾シタ也、

師見云、大似一頭駝、

下、依勢欺人、又、見機而作、

弁、生菜ヲ喫シタ機ヲ見テ、思様推コナイテ、似一頭駝ト

云夕、

普化便作駝鳴、

下、道畜生、

弁、是ハ、駝ノ鳴ヲ作夕処ニ當テ、即今普化ニムイテシタ

下吾ソ、

又、賊心已顯、

弁、便駝ノ鳴ヲ作夕ハ、普化ノ賊心ガ、ハヤ顯タワ、

又、不謬為普化、

弁、愛テハ、駝ノ鳴ヲナサイテ叶又処ナリ、普化ナレハコ

ソ、便駝ノ鳴ヲ作夕レ

師云、這賊、

下、捉敗了也、又、拋款結案、

弁、這賊ト云イ(51ウ)顯イ夕、賊心ヲ物ニ書シルイテ置

心也、

又、當機顯面、

弁、這賊ト云イ顯イ夕処方當機也、普化云、賊々出去、

下、當機顯面、

コチ力賊ナラ、ソチモ賊ヨト、向ノ這賊ト云機ニ當テ云夕、

又、夜深共見千岩雪、

是毛初ノ心也、

又、龍戲滄海、虎嘯南山、

是毛同前也、捨別古則同意也、

因普化、常於街市搖鈴云、明頭來、明頭打、暗頭來、暗頭

打、四方八面來、旋風打、虚空來、連架打、

下、逢花打花、逢月打月、

弁、轉処デ候、

師拶、轉処ノ子細ヲ弁來、

答云、轉処トハ、向イカラ何タル働ヲシ來ル共、其ノ圍續

ニ不墮、月ト問ヘハ、鐘ト答ヘ、水ト問ヘハ、花ト答ヘ、逢

月打月如ク、向ノ語ノ途轍ニ不墮(52オ)処、轉処也、衲

僧悟徹ノ境界也、八境界ノ外也、

師拶云、明頭來、明頭打、子細弁來、

答云、明頭來、明頭打トハ、明頭カラ來ハ、明ニ打チ、暗

頭カラ來ラハ、暗頭ニ打チ、何ノ造作モナク、ソレノ

上デ、打テノケ夕、是ヲ截断ト心得ルハ、非也、轉処ノ竟

介也、四方八面來、旋風打トハ、四方八方カラ問イ來ラハ、

旋風打ト辻子風ノ如ク、マワリ打ニ打ト云義也、虚空來、

連架打トハ、未墮地前、ツ、ケ打ニ打フト云事也、捨ノ

此則旧參ナラテハ、ミセ又也、ナセニナレハ、轉処ト云事

云イ出ス事難也、一千七百則ノ内、又一代藏教ニモ、此格

マレ也、八竟介、十竟介ヲモ、悉ク打テノケタ処コソ、轉
処ナレ、又、轉轆々地トモ下吾スル也、(52ウ)

師令侍者去、纔見如是道、即把住云、総不与麼来时如何、

上无無梯、入地無門、

并、又ケ路モ無イ様ニセメツケテ、ドツチヘモ行キ方モナ
イ如二問タ、如此林オノ摺シラレタレバコソ、今日マテ轉
処ト云事ハ知レ、誰モ此様ニ摺スル事ハナルマイソ、爰ハ、

普化ノミナラス、佛祖モ如何トモ働フ様ハアルマイソ、

又、不謬為侍者共著ル、不与麼来トハ、四方八面カラ来ラ
イデ、余ノ方カラ来ハ如何ト、セメツメテ問タ事也、

普化托開云、来日大悲院裏有音、

竹密不妨流水過、山高豈碍白雲飛、

并、林オノ句中ニテ、普化ヲ何共工働カ又様ニ摺セラレタレ
共、普化ハ轉処テ働カレタホトニ、少モサマタケラレナン
タソ、大悲院裏有音トハ、明日音力候ト、一向無道理轉処
也、(53オ)前ノ圈續ニ墮セ又、何ノ道理ナフ働タハ、ト

コマテモ轉処也、師ヲ仰下セス、一向別事ヲ以テ答ラレタ
ソ、

侍者回、拳似師、々云、我從來疑著道漢、

夜深共見千岩雪、

并、我昔疑著シタレ共、今日ヨリ後ハ、疑著セマイルト云タ
ハ、轉処ノ処ニ知音ノ云タソ、

不謬為侍者、龍戲滄海、虎嘯南山、

并、龍戲トハ、普化ノヲトリハ子タル境介、ソラ狂ジシタ
方、虎嘯南山トハ、林オノ大機大用、又不与麼来时如何
ト問イ、又、我從來疑著道漢ト云ワレタ、ヨソロシキ方也、

普化ノ轉処ノ上ニ、林オノ知音セラレタソ、千七百則ニモ、
此格マレ也、不作用喝ハ、轉処ノ用イ也、
有一老宿參師、未曾人事、便問、禮拜即是、不禮拜即是

(53ウ)

為賊過梯、璨生招箭、

并、人事トハ、坐具ヲ展テ禮拜ノカラ、禮問ト云テ、一問
ヲスル事ガアルニ、其レヲモセイテ禮拜ノヨカラフカ、禮
拜セマイカ、ト問タハ、如何サマ向イノ言句ヲ引出サスト
カ、ツタ、盗人ノ匂入ヲシタ者ソ、
師便喝、

勘破了也、鑑在機前、當機觀面、

并、人事モセサル先、ハヤ問タ機、當テ、ハツタト喝シタ
也、

老宿便禮拜、

伸手不見掌、

并、一喝セラレタハ、一段殊勝ニソ口ト云体ヲ、ヨソロ
シイ機ヲ蔵ノ禮拜シタ、

觀面當機共著タ、

師云、好个草賊、

下 捉敗了也、

弁、草賊トハ、小賊ト云心ソ、サレ共、好个ト云タデ、

(54才)大賊ト響タ、

老宿云、賊々、出去、

下 千峯勢到岳邊止、万波声販海上消、

弁、コチガ賊ナラハ、ソチモ賊ヨト云テ収タ、

又 水販海上、遂成波濤、

此句用タ意ハ、底ニヲソロシイ機ヲ推蔵テ、コチガ賊ナラ

ハ、ソチモ賊ヨト云テ収タホトニ、波ノ底ニヲソロシイ機

ヲ推蔵又道理カアルホトニ、常ノ什麼ノ道理モナフ、波ト

ナツタト云トハ、チガフ也、

師云、莫道無事好、

下 夜深共見^ッ千岩雪、

弁、貴方ハ有事ズキテ居テ、無事ガヨイト云、機關・句中

ホドナ有事ガ有^ッフカチヤホトニ、無事カヨイトナイウシマ

ウソ、ト云タ、コナタカ賊ナラハ、ソチモ賊ヨト云テ収テ、

互ニ見尽ヤフタ上テ云タホトニ、如此下吾シタ也、(54ウ)

首座待次、師云、還有過也否、

下 釣竿截尽重栽竹、

首座云、有、

下 有問有答、又 不謬為林才首座、

大德寺派系密參録について(九)(飯塚)

弁、チツトモ又カラズ、其假有ト云タ、有過処ヲ見スマイ
テ云タ、サスカ林才ノ首座ニノモ、ウテ又也、

師云、實家有過、主家有過、

下 捉襟見肘、

弁、ドチニ過力有ソト、猶モトリトメテ、首座ノ脚痕ヲ見

尽サフトカ、ツタ、

首座云、二俱有過、

下 何不行令、

弁、随分ナサケミ、二俱有過トハ云タレ共、マタ其分テハ、

林才ノ機ニ思様當ラヌ、ナセニサフ云フヨリ、思様令ヲ行

セ又ソト、今日首座ニ向テシタ下吾也、

師、^(前カ)過有什麼処、

下 白棒不在手那、

弁、餘リ尾ヲ引テ(55才)云フヨリ、思様、ナセニ打又

ソ、折節、手前三棒ハシナカツタカト、是モ、コチノ眼力

ヲ下吾シタソ、

首座便出去、

下 雲出洞中明、

弁、初老宿ノ賊々ト云イ顯テ出タヨリハ、許多増タソ、此

デハ、打申シタイ処ナレ共、師學ノ禮ヲ存スルホトニ、打

申サヌト云心ヲ、底ニ含マセテ、什麼ノ道理モナフ、出去

タハ、一段面白也、

師云、莫道無事好、

下 一点水墨、兩処化龍、

弁、初老宿_三對_レ云夕語ヲ、又爰テ取出テ云夕ホトニソ、

又、兩寶一彩、又、初心不改、

何モ、初モ此モ同意也、

後有僧拳示南泉、

下 一回拳著一回新、

南泉云、官馬相踏、

下 知音自有松風和、

弁、首座_三卜林オト(55ウ)ヲトカフモフ振舞タヲ、ヨイ馬ノ蹈踏ヤフ_レナト、二人ノ竟界ヲ、ヨク見テ南泉ノ知音ソイワレタ也、

師入軍營赴齋、門首見員僚、師指露柱云、是凡是聖、

下 借徑經過、

弁、軍營トハ、將軍ナトノ陣立ソイル処ヲ、軍營ト云、員

僚トハ、守門ノ士也、殿原ナトノ如キ者ソ、露柱ハ、門首

ナルホトニ、則門柱ヲ指_レ問タソ、員僚共ニ對_レ、露柱

ノ上ヲ、凡カ聖カト問ヤフニソ、員僚トモヲ、凡カ夫カ聖人

カト問タ処カ、借徑經過シタ者ソ、

員僚無語、

下 鼠口無象牙、

弁、何カ員僚トモガ分テ、答話ヲバセフソ、無言句処ヲ、

鼠口ニ象牙ノナイヤフナヤツ哉ト下吾シタ、

又、一場苦窟、

員僚トモガ、(56才)色相ニツラツキコフテ居テ、活処ヲ

得又処ヲ云タ、

師打露柱云、直饒道得、也祇是个木槩、便入去、

下 指柳樹罵槐樹、

弁、露柱ヲ打、直饒道得タト云テモ、只木ノクイヨト、露

柱ノ上ヲ云ヤフニソ、員僚トモヲ罵タ、

又、打水魚頭痛、又、打草驚蛇、又、痛処下針錐、

此句ヲ用夕意ハ、員僚ガ語無イ処ヲ、代ニ露柱ヲ打テ、員僚トモヲ痛メテ、知ラシメフトカ、ツタ処カ、為人也、

師問院主、什麼処来、

下 似要知来処、

主云、州中糶黄米去来、

下 有問有答、

師云、糶得尽麼、

下 因風吹火、

主糶得尽、

下 舌頭有骨、(56ウ)

初カラ平人ノ物ヲ云ヤフニ、語ニ因テ、糶得タカト問ヘハ、糶得尽ト、底ニハ、思様句中ヲ以テ、イカニモ平々ナ処ワ、ヤワラカナ舌ニ骨々シイ事カ有ルヤウナソ、

師以杖面前畫一畫云、遷羅得這個麼、

下 衫穿肘露、

并、此マテハ、平人ノ物ヲ云ヤフニ、チツ共、句中力露
レナンタガ、以杖面前二畫一畫シタハ、本分也、本分ガ、
賣買ニナル物ノヤウニ、遷羅得這個カト云タ、初カラノ句
中力、此テクワラリト露タ也、

又 重疊関山路、

此句ヲ用タ心ワ、初カラノ句中力、次第二重ル心也、

主便喝、

下 當機觀面、

師便打、

下 拳來踢報、又 正令當行、

典座至、

下 一對獅子兒、

并、此典座モ、一段ノコワ者也、院主ニ劣又者也、(57才)

師拳前話、

下 一回拳著一回新、又 初心不改、

并、初ノ句中ヲチツ共不改、典座ニ遇テ、又拳タ、

典座去、院主不會和尚意、

下 眼看東南、意在西北、

并、院主ト、底ハ知音シナカラ、先ツ和尚ノ意ハ會又ト云
タ也、院主ノ上ヲ至極、林才ノ脚痕ヲ如何ト看タ処力、

意在西北者、
又、堞生招箭、

此意ハ、先カフ云テ、汝作麼生トイワセフトカ、ツタ也、

師云、汝作麼生、

下 捉襟見肘、

并、ヨフ、ソレナラハ、汝イエ、什麼トシタ処ヲ、院主力

會セヌト取りメテ、如何ト見タ、

又 凛々威風逼人寒、

此意ハ、典座ヲセメツメテ問タ、

典座禮拜、

下 陷虎之機、又 展手不見掌、

并、一段殊勝二候ト云体ヲ、ドコガ何トアルト云言句ニ

モワタラス、禮拜シタハ、(57ウ) 掌ヲ見セシメ又者也、

ヲソロシイ振舞ソ、此禮拜ハ、一段冷イ禮拜也、

師便打、

下 踞虎頭収虎尾、又 虎頭虎尾一時収、

此テハ、好ク共、悪ク共、打イテ叶又処也、典座ガ伶俐ニ
働タ処ヲ慶美、打テ収タ、

有座主來相看次、師問、座主講得何經論、

下 爛泥裏有棘、又 舌頭有骨、

并、何ソノ經論ヲ講シタソト、ナル、ト云テ、底ハ、座
主ノ脚痕ヲ如何ト看タ也、

主云、某甲荒唐、粗習百法論、

下、實頭人難得、又、不謬座主、

弁、某甲ハ、アラウツベウデ、ヤフ、百法論ヲ習テ候

ト、林オノヲソロシイ意ヲハシラス、有ノ俣ニ云タ、

師云、有一人、於三乘十二分教明得、有一人、於三乘十二

分教明不得、是同是別、

下、捉襟見肘、

座主云、明得即道、明(58才)不得即別、

下、一死不再活、

弁、明得レハ、同シ者也、明得子ハ、別チヤト、ヲンデモ

ナイ事ヲ云タ、終ニ活処ヲ得又也、

樂普為侍者、在師後立云、座主、這裏是什麼所在、説同説

下、借徑經過、

弁、座主ノ上ヲ云ヤウニ、林オノ脚痕ヲ如何ト看タ処カ、

經過シタ者也、

師回首問侍者、汝又作麼生、

下、日斜照見高低影、

弁、其ナラハ、汝道ト云テ、樂普ト座主ト、イカホドチガ

ツタソヲ照見タ也、

又、秤尺在手、

此句ヲ用イタハ、樂普ト座主ノチガイメ、輕重ヲ秤看タ

也、

侍者便喝、

下、不謬為樂普、

師送座主回来、遂問侍者、適来是汝喝老僧、

下、觀機無改路、(58ウ)

侍者云、是、

下、不妨實頭、

弁、適来老僧ヲ喝シタカト、一段ヲソロシイ心テ云タホト

ニ、愛テハ、再喝スルカ、如何様令ヲモ行セフ処ヲ、

和尚ヲ喝シマラセテ候ト云タハ、圍繞ニ落タ答話ソ、不妨

實頭トハ、實頭ヲエヤブラヌト云心也、

師便打、

下、首正尾正、

弁、面ハ實棒也、収テ打タ也、底ハ、樂普カ手ヌルヲ云タ

処ヲ、ヲカシユフ思テ打タト可心得也、

師闍第二代徳山垂示曰、道得也三十棒、道不得也三十

棒、

下、似截釘斬鉄、又、彷彿把定要津、

弁、此句ノ心ハ、要津トハ、船ノ多往来スル、肝要ノ津也、

把定ハ、往来ヲ絶スル心也、道得ルモ打フズ、道不得モ打

フズ、何レヲモ打テノケフト云テ、諸人ヲ如何ト看(59才)

タホトニ、彷彿ト云タ也、截断ニ似タト云心也、又、似截断

釘斬鉄モ同事也、道得ルモ道不得モ、何モ何ヲモ打フスト云夕処ハ、截断ニ似夕也、

師令楽普去問、道得為什麼也三十棒、待伊打汝、接住棒送一送、看他作麼生、

下 要通知已、

弁、師モ、徳山ヲ好僧チヤト思テ、向後知音セフ為ニ、先ツ侍者ヲヤツテ問試夕、

又 知音知後更誰知、

弁、林才テナフテハ、誰モ徳山ノ境界ヲ能知マイゾ、能知テ問セ夕也、

普到彼、如教問、徳山便打、

下 果然有這作、

弁、徳山ハ、棒使イチャホトニ、例ノ手ヲ取出テ打レフスト思タレハ、果ソ打タワ、

普接住棒送一送、

下 不謬為楽普、又 家無小使、不成(59ウ)君子、

弁、林才モ、如此ヨイ侍者ヲ、會下ニ持レタレハコソ、イカメシフ林際トハトイワレタレト云心也、

山便販方丈、

下 長橋臥波、又 千峰勢向岳邊止、万波声販海上消、

弁、何ノ道理モナフ収テ、方丈(販夕也、

普回拳似師、々云、我從來疑著這、

(漢原)

下 龍戲滄海、虎嘯南山、
弁、互ノ遊戲三昧ヲ知音ソ云夕事也、

雖然如此、汝還見徳山麼、

下 捉襟見肘、又 日斜照見高低影、又 釣竿截尽重栽竹、

弁、一クワ果タニ、又楽普問夕ハ、重栽竹者也、

普擬議、

下 龍頭蛇尾、

弁、初ハ大小ノ徳山ニ向テ、ケナケニ如教ヨフ働タガ、爰テ擬議シタカ、蛇尾也、

又 可惜許、

弁、随分ノ楽普ガ、爰テ擬議シタハ、サテ(60才)モアツタラシイ事哉、

又 龍馬一蹶、

弁、楽普コトキノ僧力、擬議セフ事デハナイカ、龍馬ノケツマツキホトノ事也、

師曰、楽普ホトノ人ナレ共、當時チヤツト擬議シタハ、誠ニ龍ノケツマツキ也、

師便打、

下 拋款結案、

弁、白状シタ過ヲ物ニ記ノ置ク心ニ、擬議シタ処ヲ打タ也、

又 虎頭虎尾一叱収、

弁、虎頭八徳山ノ上ヲ、虎尾八榮普ソ、何レ共ニ収打タ也、

王常侍、一日訪師、同師於堂前看、乃問、這一堂僧、還

看經麼、

下、撓鈎搭索、又、言中有響、

弁、常侍ノ先力フ云カケテ、林才ヲ如何ト見タ也、

師云、不看經、

下、勘破了也、又、來風深弁、又、鑑在機前、

弁、看經麼ト、句中ヲヨ、勸波ソライテ、王常侍チヤホト

ニ、別ニ機ニ當フ様カナサニ、イカニモナサケナフ、イヤ

看經(60ウ)セヌト、キツフ打チモイテノケタ処カ、思樣

機ニ當タ者也、

侍云、還學禪麼、

下、初心不改、又、前箭輕、

弁、サテハ、禪ヲ孝スルカト、初ノ句中ヲ改メズ問タ、

師云、不學禪、

下、後箭深、又、苦爪連根苦、

侍云、經又不看、禪又不學、畢竟作个什麼、

下、路人桃源深更深、又、甜瓜徹蒂甜、

師云、總教彼成佛作祖去、

下、生美終不改辛、

弁、彼トハ、一堂ノ僧ヲ指テ云タ、看經ヲモ坐禪工夫ヲモ

セヌ、別ニ成佛作祖スルソト、根本ノ上ニ、成佛作祖スル
事ノ有フ様ニ云イナイタ処カ、一段深ヒ句中也、

侍云、金屬雖貴、落眼成翳、又作麼生、

下、惱乱春風卒未休、

弁、金屬トハ、句中ヲ指テ云タ、機關・句中ヲ以テ人ヲ試

ルホトナ(61才)重宝ナ事ハナケレ共、其モ根本ノ眼力ヲ

看時ハ、眼中ノ翳テハヲリナイカ、又作麼生トハ、サテ

ナント、云心ソ、カフ云テ、臨濟ノ上ヲ猶モ如何ト看タ、

サフ云常侍ノ心中モ、マタ春風ニ惱乱シタ者ヨト、コチカ

見テ下吾シタ也、

師云、將為作是个俗漢、

下、夜深共見千岩雪、

弁、貴方ハ俗漢カト思タレハ、ヲソロシイ衲僧ノ働ガ有ヨ、

ト云心也、機關・句中ヲ以テ人ヲ試ムレ共、落居何ノ道理

モナイ処ヲ、千岩雪ト用テ付タ下吾也、

師問杏山、如何是露白牛、

下、撓鈎搭索、

弁、露地白牛トハ、捨別本分ヲ云タ、更ニ露地ノ白牛ニ用

処ハナイ、如何ト試問タ也、

山云、咩々、

下、瞞人不少、

弁、咩々トハ、牛ノ鳴聲也、露地白牛ト問タニ、咩々ト鼻

二ノセテ、人ヲ瞞却シタ也、

又弁二、咩々トハ、頭二(レカ)入テ、アシャリタル振舞也、

今日モ人カ何事ヲ云共、ウント鼻二ノスルト同事也、(61

ウ)

又、来風深弁、又當機觀面、又勸破了也、

師云、啞那、

下 依勢欺人

弁、杏山ノ瞞却シタル圈續二、少モ不墮、結句脚ヲ踏ミ蔵

テ、你ハ口ゴモツタルカト欺テ云タ也、

山云、長老作麼生、

下 捉襟見肘

弁、露地ノ白牛ノ上ヲ、サラハ和尚被仰ヨト、却テ一

撻ノ如何ト見タ、

師云、這畜生、

下 毒氣傷人

弁、面ムキハ白牛ニ用テ、這畜生ト云様ニ、底ハ杏山ヲ

指テ、畜生ト罵テ云タ、毒ヲシイ答話也、日本ノ世話ニ、

人ヲ罵ニ、畜生メカト云ト同事ノ、

師問染普、従上来、一人行棒、一人行喝、阿那个親、

下 撓鉤搭索、又 秤尺在手、

此ノ句ノ心ハ、諸人ト染普トノ輕重ヲ秤リ試タ心也、

又 斫額望天衝、

何モ染普ノ上ヲ如何ト看タ也、(62才)

普云、捻不親、

下 鑑在機前、又 見機而作、又 勸破了也、

弁、棒ト喝トハ、ドチガ増タソト問レタホトニ、ドチモ優

劣ハ候ハヌト、句中ヲヨク勸破、クワイト打モイデノケ

タハ、思様機ニ當タ者ソ、

師云、親処作麼生、

下 捉襟見肘

弁、猶モ染普ノ上ヲ如何ト、取トメテ看タ、

普便喝、

下 一槌兩當

弁、別ニ親イ処力有カ、你イヘト、臨濟ノ猶モハタサス云

タ機ニ當テ、思様喝タ方、又又棒(レカ)ノ上ヲモ截断ノ喝シタ

方、兩當ソ、喝ソノケタナリ、

又、果然、

此句ヲ用タ時ハ、爰テハ喝セフト思タレハ、果ソ喝シタ

ワト云心也、

師便打、

下 踞虎頭収虎尾、

収テ打タ也、

師見僧来、展開兩手、

下 無孔鉄槌當當(レカ)面擲、

弁 本分ヲ推開テ、此僧ニ見セタ也、
僧無語、

下 這瞎漢、

師云、會麼、

下 落山求人、又、何不行令、

弁 這般ノ僧(62ウ)ヲハ、ナセニ思様打タヌワ、餘リ為人過タ事ライワレタ、ト云心也、

云、不會、

下 一死不再活、

師云、渾齋擊不開、与汝兩文錢、

下 一槌兩當、

弁 渾齋擊不開ト云モ、本分ソ、又、汝八渾齋ヲ擊共開ケ又如クニ、什麼ト云テモエ心得又漢哉、草鞋錢ヲ貳文トラセフズ、アチコチ扣マワツテ、ナフテハ、ワトノカ様ナ者ワ、エ心得ヘマイソト罵テ云タ方、兩當也、

又 痛処下針錐、

弁 兩文錢ヲ与ント云テ、推コナイテ云タラハ、若心得カセフズラフト思テ云タ処方、為人也、

大燈国師下吾云、大痴生速去、

弁 貴方カ様ナ鈍ナヤツハ、ナントノモ心得事ハアルマイ、早ミ去レ、ト云心也、林オノ兩文錢ヲ与ント云タハ、マダ遠路ナ、我ナラハ、カフ云フ者ヲト、大灯ノ、林オニ

別ノ被仰タ事也、常ノ太遲生ト八チカフテ、爰ヲハ、愚痴ノ痴ノ字ヲ書ソ、(63オ)

大覺到參、

下 魚行水濁、

師拳起佛子、

下 拂子頭上有眼、

弁 面八本分ヲ推出テ見セタ様ニ、底ニ八向ノ働ヲ見テ、終ニ打フト思心カ有ソ、武士ナトガ、敵ヲ見テ打物ノサヤヲハツス心也、捨別拂子頭上有眼ト云ヲ、処々ニ依テ、用様カチカフソ、爰ハ、如何様打フト思フ、ヨソロシイ句中アル処ヲ、有眼ト云タ、

又、劈頭劈面、

弁 是モ、向イノ働ニ依テ、是非共打フト思フ、一段ヲソロシイ意ノ有処ヲ以テ、此句ヲモ著タ、

大覺敷坐具、

下 展手不見掌、

弁 拂子ヲ拳起セラレタヲ、本分ヲ為人セラレタニ取成テ、本分ヲ為人サセラレタ、一段殊勝ニ候ホトニ、禮拜ヲセフト云体ヲ、底ニ一段ヲソロシイ機ヲ推蔵テヲイタ処カ、不見掌也、(63ウ)

師擲下拂子、

下、誰知遠烟浪、別有好思量、

弁、拂子ヲ举起シタ処ヲ、向力為人ニ取成テ、礼拜セフ
トノ、ハヤ坐具ヲ展ルルホトニ、此デ伎倆ヲ出テ、打テモ
入又事チヤト思テ、林才モ為人ニシナイテ収テ、拂子ヲ擲
下シタ様ニノ、猶毛向イノ働ヲ如何ト看タ処ガ、別ニ好思
量アル者ソ、遠烟浪トハ、初ノ拂子ヲ举起ノ、向ヲ如何
ト看タ処也、

大覚収坐具、入僧堂、

下、夜深共見千岩雪、

弁、初二拂子ヲ举起シタ処ヲ、本分ヲ為人サセラレタ、一
段殊勝ニ候ト云テ、禮拜スル、サテ、禮拜ノ後ニ、打テ収
ガ、通方チヤニ、禮拜セフトノ、坐具ヲ展ルニ、ハヤ拂子
ヲ擲下セラル、ホトニ、サアレハ、コチモ禮拜ノイラヌト
云体ヲノ収タ、互ニ看尽ヤフテ、機關・伎倆尽クツキテ、
落居ナンノ道モナイ処ヲ、千岩雪ト用タ、

衆僧云、這僧莫是和尚親故、不禮拜、又(64才)不喫棒、

下、杜撰祥和、如麻似粟、

弁、此僧、禮拜ヲシサフニノ、禮拜ヲモセズ、又和尚モ拂
子ヲ举起ノ、如何様打チサフニノ、打モセイテ、擲下サ
セラレタハ、イツモト八事ノ外チカフタ、一段心易イ仕立
共チヤカ、但シ和尚御卸親類中デバシ有カト、何ヲモ知ラ
又無眼子共ガ、ヨリ違テ、衲僧ノ働ト云者ハ、色々ニ有者
チヤニ、一方向ニ心得テ云タ也、

師聞、令喚學、

下、雪續溪橋斷、

弁、一落索果タニ、大衆ニイワサレテ、又大覚ヲ喚出タ
也、

覚出、

下、老虎出南山、

師云、大衆道、汝未參長老、

下、前箭輕後箭深、

弁、大衆ガ、チツ共工心得イテ、ヨカシイ事ヲ云タ処ヲ、
大衆ノ云タラ次ニノ、又、起シ出テ、大覚ヲ喚出テ、貴方
ガ禮拜ヲモセズ、常シキト模様カチカフタニ依テ、大衆力
(64ウ)不審シサフワ、ト云テ、又大覚ヲ如何ト看タ処ガ、
後箭深也、

學云、不審、便自飯衆、

下、一箭兩塊、

弁、一落索果タホトニ、別ニ用処ハ有マイニ、喚出セラ
ル、ハ、又什麼トシタ、一問ヲカサセラレフスラフ、不審
ニ候、ト云心、又、今マテ互ニ至極見尽シヤフテ、一果ハ
テタニ、無眼子ノ大衆ニイワサレテ、喚出サセラレフ和尚
テハナイガ、又喚出サセラル、ハ、何トモ不審ニ候ト云心、
兩塊也、

又、千峰勢向岳辺止、万派聲皈海上消、

弁 何ニモ取アワズ、一落索果タニ、喚出サセラル、八不審ニ候ト云テ、衆ニ飯ノケタ処ヲ、眼ニカケテシタ下吾也、

趙州行脚時參師

下 魚行水濁

弁 只テハハナイ、如何様林才ヲ問試フト思フ、ヨソロ

シイ底濁力有也、(65才)

遇師洗脚次、州便問、如何是祖師西來意、

下 句裡呈機、又 探竿影草、

弁 果ノ句中ヲ以テ、師ヲ試タ也、

師云、恰遇老僧洗脚、

下 惡水驚頭湧、又 勘破了也、又 深弁來風、又 鑑在機

前、

弁 趙州ノ句中ヲ能勘破ノ、其機ニ當テ、ヨツホト脚ヲ洗

フ処ヘヨリヤリサフタヨ、其様ナ事ヲ云テ、惡水ヲカケラ

レナト云タ、許多脚汁ヲ頭クタリカケタ者也、

州近前、作聽勢、

陷虎之機、

弁 ソラ耳ヲツフイテ、トホケタ躰ヲ、西來意ノ答話ヲ

聽聞申サフト云躰ニテ、近ク子リヨツタ、猶上ノ重ヲソ

ロシイ機ヲ以テ、向ヲ陷レフトカ、ツタ、

師云、要第二杓惡水潑在、

下 青於藍冷於水、

弁 其様ナ振舞ヲシテ、惡水ヲマタカケラレナト云心也、

(65ウ)

州便下去、

下 千峰勢向岳邊止、万派声飯海上消、

弁 互ニ機関ヲ働キヤフテ、休スベキ処ヲ休タ、

有定上坐、到參問、如何是佛法大意、

下 問得可始得、

弁 定上坐ハ、何ヲモ知ライテ、一問ノ通法ト心得タルマ

テニテ問タ也、

師下繩床、擒住与一掌、便托開、

下 一槌兩當、又 截断紅塵水一溪、

弁 根本ノ上ニ佛法ト云事ガ有テコソ、大意ト事モアラ

フズレ、問フスル佛法無ト掃絶シタ方、截断ノ看セシメタ

大機大用ノ方、一槌兩當也、

定佇立、

下 脚跟不轉地、又 飲氣天声、

弁 林際大機大用ヲ被ラ振舞、トハウモ無フ茫然而立タル

也、

傍僧云、定上坐、何不禮拜、

下 傍人有眼、

弁 傍僧ハ、林才ニ能ク知音ノ云タ、是程ナ殊勝ナ事ガ有

フカ、ナゼニ礼拜セヌソト云々、(66才)

定方礼拜、忽然大悟、

下、昔年錯向途中真、今日看来火裏氷、又、互解氷消

并、并、爰テ初テ本分ヲモ悟リ、林才ノ大機大用、何事

ヲモ一度ニ互解氷消シタル也、

麻谷到參、敷坐具間、十二面觀音、阿那个面正、

下、句裏呈機勢面来、

并、麻谷ノ禅客ニ作テ、觀音十二面アル内デ、ドレガ正面

ソト、先力フ云テ、林才ヲ如何ト看タ、

師下繩床、一手収坐具、一手掬麻谷云、十二面觀音、向

什麼処去、

下、还取鎗頭、倒刺人来、

并、向イノ一問ヲツ取テ、ヤカテ向ヲ一拶シタ処力、倒

刺人来タ者也、

又、戰鋒相拄、

并、十二面觀音、向什麼処去ト、ツ、カエノ問タソ、

又、因風吹火、

此時八、十二面觀音、向什麼処去ト、猶モイワセフトカ、

ツタ処力、因風吹火也、

又、劈殺人、(66ウ)

此時八、掬麻谷、セメツメテ問タ処ヲ以テ著タ、

又、看機而作、

何モ向ノ働ヲ看テ、コチカラ頓テカフ働タ也、

又、且緩々、

且クヲユルシ候へ、ト云心也、是ハ、ソバカラ見テ、アツ

カフタ心ソ、何モ句ニ依テ并シ分也、

麻谷轉身、擬坐繩床、

下、慣戰作家、

并、禅宗チヤホトニ、問イ申セバ、遷テ其方カラ御問イ候

ホトニ、サアラハ、我レ主位ニ坐ノ答申サフス、ト云心也、

ソユヲ、コチカラ、サテモ一問一答ヲヨクシツケタ、ヨイ

作家哉ト下吾シタ也、

又、前箭輕後箭深共著タ、

初ヨリ後ノ力、一段ヲソロシイ振舞チヤ、ト云心也、

師拈主丈打、

下、當機觀面、

并、向ノ機ニ當テ、思様打タ也、

又、青於藍冷於水、

并、次第ニヲソロシク振舞タ、此テ一段コワ成タ也、

麻谷接却、相捉販方丈、

下、夜深共見千岩雪、

并、互二見(67才)尽シヤフテ、知音ノ収テ、販方丈タ

也、

又、龍戲滄海、虎嘯南山、

弁 是八、互二劣^{ツリ}カフモノフ振舞夕処ヲ以テ、爰ニ著タ、
又 水到瀟湘一様清、

是モ、互二機關ヲ以テ、劣リカフモノフ働テ、見尽シヤウ
テ、落居什麼ノ道理モナイ処ヲ、一様清ト用タ也、
師問僧、有^レ時一喝、如金剛王寶劍、

下 斬釘截鉄、

拶云、ナセニ此一喝ヲ八截断ニ八用タソ、

弁、シカツタル処力、截断ソ、問来ホトノ事、ナスホトノ
事、振舞ホトノ事、皆色相ノ上ノ支ソ、喝トシカツタル処
力、截断ソ、本分ニ眼ヲ著ケテ、色相ニ對メ、喝トシカツ
タル処力、截断也、喝ト云タハ、シカツタ勢也、
有^レ時一喝、如踞地金毛獅子、

下 牙如劍樹、口似血盆、

拶云、意旨如何、

答云、誰敢近傍、

弁、諸猊難近傍処(67ウ)カ、本分チヤ、獅子一吼、百猊
腦裂ト云テ、獅子力一吼シタレバ、百猊ノ腦力裂ルソ、然
ルホトニ、難近傍者ソ、句ニ、口血盆ト云タハ、血盆地獄
ト云テ、難近傍者ソ、

拶云、ナセニ本分ニ八難近傍ソ、

弁、無イホトニ、難近傍、本分八無者ソ、無処エ八近傍セ
ラレテコソ、

拶云、ナセニ此一喝ヲ本分ニ用タソ、

弁、八タト喝シタル聲ニ、蹤跡カナイ、蹤跡ノナイ処ニハ、
近傍シガタイソ、何テマリ、八タト喝タル聲ニハ、蹤跡カ
ナイソ、前ノ一喝ハ、對^レ相シカツタワ、是ハ躡ソ、此一
喝ハ蹤跡カナイホトニ、用チャソ、躡用八何^レモニ有ソ、
有^レ時一喝、如探竿影中、

下 作賊人心虛、又 撓鉤搭索、

弁、此一喝ハ、八タト喝シタル処テ、學者ノ深淺・高下・
邪正ヲ知ソ、喝ト喝シタル処テ、向ノ心カシラルソ、知
レ又者ハ、何タル喝ヤラ(68オ)知ラヌソ、師家ニ對^レモ、
學者ニ對^レモ、一喝メ、向カ心得タカラ知ルソ、喝メ、
向ノ心ヲ試テ知力、賊チヤソ、撓鉤搭索ハ、曲輪^ヲ般^ニ打力
ケテ、コチニ手繩ヲ以テ引ヨセテ、雜物有無ヲ見テ取ル
也、

有^レ時一喝、不作一喝用、

下 天上月明、溪畔雲暗、

師云、不作一喝用^ヲハト云点アリ、密參ノ点也、是ニテ可
弁、

弁、此一喝ハ、百千万億ノ喝ノ用ヲナイタホトニ、一喝ノ
用ヲバナサヌ也、

拶云、ナニセ百千万億ノ喝ノ用ヲナイタソ、
弁、先八タト喝メ、イツレノ喝トモ知ラヌ様ニ、マギラカ

イタホトニ、一喝ノ用ヲハナサヌ也、

抄云、天上月明、溪畔雲暗ト云ヲ、引合弁来、

弁、上八何ノ道理モナフ喝シタヤフナレ共、底八森羅万象

ノ上ヲ喝シタヤラ、或八山河大地ヲ喝シタヤラ、又鍛冶

匠ノ上ヲ喝シタ(68ウ)ヤラ、何トモ知ラレヌ処力、溪畔

雲晴チヤソ、喝ト喝シタ処八、現成ナレ共、底力イツレヲ

喝シタヤラ知レヌソ、現成ノ上ヤラ、本分ヤラ、機關・句

中ノ上ヲ喝シタヤラ知レヌ処力、溪畔雲暗ソ、天上月明、

溪畔雲暗、此句ニ権實力兼ソナワリタソ、

汝作麼生會、

下、捉襟見肘、

弁、汝作麼生會セント抄シツメテ、脚實地ヲ地ヲ踏タカ、

踏ヌカト、試テ問タホトニ、如此下吾シテ候、

僧擬議、

下、果然、

弁、一抄シタ処ヲ擬議シタモ、道理ヨ、林才面前チヤホト

ニ、擬議セフト思タレハ、案ノ如ク擬議シタソ、

又、一場苦屈、

弁、擬議セフ事デハナケレ共、林才面前チヤホトニ、擬議

シタソ、ウケマシイ苦ヲウケタソ、(69ウ)

師便喝、

下、劍握曾人手、

弁、劍(ハカ)曾人ノ柄具足チヤ、唐テ八曾人ハ劍ヲ使フ上手

ソ、譬八關東ノ者力、平法(兵カ)ヲスル如ク、又八山法師ナト

カ、長刀ヲ使フ様ニ、弁慶ナトモ、山法師ソ、長刀ヲ使フ

如クソ、徳山ノ棒ヲ使イ、林才ハ喝スルソ、是ハ柄具足ソ、

此僧力擬議シタ処ヲ、エテノ法門ニ引カケテ喝シタソ、僧

ノ擬議シタモ道理ヨ、林際面前テアルホトニ、擬セイテハ、

然処ヲ、林才ノエテニ喝セラレタソ、何タルヲソロシイ者

ニ出達テモ喝セラレタソ、コチモカフ心得タ上テハ、林

才・徳山ニヲトラフ事テハナイソ、

師問一尼、善来惡来、

下、劈頭劈面、又、撓鉤搭索、

弁、善来力惡来カトハ、汝八毒々シイ機ヲ含テ来タカ、又

ウチトケテ来カト云心也、尼力来タニ、其假アタリ眼ニ

ヲソロシフ問タ処(69ウ)カ、劈頭劈面ソ、又、カフ云テ

如何ト鉤試タ心カアルホトニ、撓鉤 卜下吾シタ、

尼便喝、

下、拳来踢報、

弁、来ヲ見テ、其假善来惡来カト、當リ眼ニ問タ機ニ當テ、

思様喝シタ処力、踢報也、

又、當機觀面、

弁、同前、

師拈主文云、更道マダ、

下 凛々威風逼人寒、

弁、猶モ此尼ガ脚痕ヲ見尽フトカ、ツテ、セメツメテ問
タ、

又 前箭輕後箭深、

是モ初ヨリ一段爰テ深イ方、

尼亦喝、

下 初心不改、

師便打、

下 頭正尾正、

是ハ掌^(裏方)棒也、収テ打タ也、

龍牙問翠微、如何是祖師西來意、

下 問得可始得、

微云、与我過禪板來、

下 一槌兩賞、

弁、上ワツラハ、何ノ道理モ(70才)モナフ、ナル〜ト

禪板ヲモテコイト云タレ共、底ハ何テモアレ、近ツイタ

ラハ、一打ウタフト思ハレタ、ヨソロシイ底意也、

牙過禪板与翠微、

下 招禍上身、

弁、是ハ過禪板、必定被打ト知りナカラ、過タホトニ、招

禍上身者也、

師乃云、龍牙モ洞家ノ知識チヤホトニ、祖師西來意ホトノ

事ヲモ知り、又禪板ヲ過タラハ、打タレフスルトハ知フス

レ共、翠微ノ答話ヲ聽聞シタフ思テ、一問ヲモシツ、禪板

ヲモ過タ、洞家ノ知識チヤホトニ、衲僧ノ手段ヲハ欠テ、

鈍ケニ振舞タ也、

下 微接得便打、

下 正令當行、

弁、令ヲ行セイテカナフ又処也、

下 棺木裏瞞眼、(70ウ)

牙云、打即任打、要且無祖師西來意、

下 事ヨ、ト云心也、

弁、終ニ活処方無ソ、死人力棺中カラ目ヲ見ダイタホトノ

下 事ヨ、ト云心也、

牙又問臨濟、如何是祖師西來意、

下 一処不通、兩処失功、

弁、翠微ノ処デ心得又ホトニ、臨濟ヘイタリ共、手ヲ失ワ

フス、ト云心也、

又、腦乱春風卒未休

下 濟云、与我過蒲團來、

下 作者千里同暎、

弁、衲僧トフシハ、談合ノ云タル様ナ事多キ者也、林才モ

ヲソロシイ心ワアレ共、臨濟ノ答話ニハ不足也、不足トハ、

コチノ上カラ見ル也、翠微ト同シ振舞ニテ、無曲ト、先師

以來ノ沙汰也、

牙取蒲團、過臨濟、

下 一死不再活、

濟接得便打、

下 不謬為臨濟、又 一条主丈兩人扶、

牙云、打即任打、要且無祖師西來意、

下 死來多時、又 死蝦蟇、(71才)

牙住院後、有僧入室請益云、和尚行脚時、參二尊宿因縁、還肯佗也無、

下 好一撈、

牙云、肯即深肯、要且無祖師西來意、

下 鼠口終無象牙、

弁、洞家ノ僧チヤホトニ、後ニ住院ナトノ居テモ、終イキ

ラカシイ事ヲハイワヌ也、

兔ニ角ニ無祖師西來意ト云事ヲ、随分ト思テ、幾度モトン
ダイタ也、

徑山五百衆、少人參請、黄檗令師到徑山、乃謂師曰、汝到

作麼生、

下 撓鉤搭索、

弁、カフ云テ、先臨濟ヲ如何ト看タ、

師曰、某甲到彼、自有方便、師到徑山、裝腰上法堂、見徑
山、

下 日斜照見高低影、

弁、林才ノ法堂へ上テ、徑山ノ上ヲ如何ト看タ処カ、日斜
也、

又 金鈎垂四海、

弁、是モ、法堂へ上テ、徑山ヲ(71ウ)如何ト釣試タ也、

又 傍若無人、

弁、旅デタチノ体テ、草鞋ハキナカラ、法堂へ上ツ、随意

ナ働ヲセラル、ハ、餘リ傍二人モナケナ事哉、ト云心也、

又 一場狼籍、

徑拳頭、

下 老々大々、又 鈍根阿師、

弁、老々大々ト云句ヲ用タハ、徑山ノ言句ニモワタラズ、
拳頭、ジロリト看タハ、一段ト老イスケタ振舞哉、常式ノ

者ナラハ、伎倆ヲ出テ振舞処ヲ、徑山ノ伎倆ヲモ不出、ジ

ロリト見上テ、向ノ模様ヲ見テバカリ居タハ、始末ニカ、
ハラス、下見上 推タルン_上面白働ソ、

又 鈍根阿師、

此句ヲ用イタ心ハ、兎角徑山ヲ見ルニ、手ヌルイ鈍ナ僧哉、
老スケタ上テモ、ナントソ、機ニ當テ振舞様、働様カ多カ

ラフニ、ジロリト見テハカリ居タハ、所詮僧カ、鈍サニノ
事(72才)チヤ、是ハ、始末ヲ見テ、終ニハキ共ナイ処ヲ

以テシタ下吾也、

師便喝、

不謬為林際、

并、爰テハ、喝セイデ叶ワヌ処チヤホトニ、例ノ得物ヲ取出テ、喝セラレフト思タレハ、果ソ喝シタハト、

又見機而作、

此時ハ、徑山ノ推タルンテ、チツ共動揺セズ、ジロリト見タ、一段面白イ振舞ヲセラレタホトニ、爰テハ、ハタト喝メ、ソコテ動轉スルカセヌカト、何レモ向ヲ見尽フ為ニ、喝シタ也、

徑山擬開口、

和聲何不行令、

并、イラヌ言句ヲ思案セフヨリモ、ナセニ喝シタ、其聲ニ和メ、思様打ヌソト、コチカラ手ヲカイテシタ下吾也、師拂袖便行、

毒龍行処草不生、又、歩々生荆棘、

并、師ノ、徑山ノ分上ニ能ク見スカシ切テ、拂袖去タ、ソロシイ処ヲ、毒龍、ト著タ也、(72ウ)

又、曲終人不見、江上数峰青、

并、是ハ、拂袖去テノケタ処ヲ以テシタ下吾也、尋有僧問徑山、這僧適来有什麽言句、便喝和尚、

問得可始得、

并、先ニ僧力和尚ヲ喝シマラシタヲ、トカイタイタガ、何トシタ一問一答力御座アツテ候ソト、何モ知ヌ僧力問タ

也、

徑山云、這僧黄檗裏来、你要知麼、且去問取他、

不妨實頭、

并、羈直ニ鈍ナ答話ヲセラレタ、且去問取他ト云タハ、餘リ實頭ナ云事ソ、不妨トハ、實頭ヲエヤブラヌ、ト云心也、

又、放過一著、

此時ハ、爰テ思様打カ喝スルカセフ処ヲ、カフ云タハ、放過一著シタ者哉ト、コチカラ見テシタ下吾也、

徑山五百衆、大半分散、

如麻似粟、

并、徑山ニヨフモナイ僧共カ、多フアツマツテ居タ処ヲ、如麻似粟ト云タ、分散シタ心ハ、臨濟トノ問(73才)答ヲ聞テ、兎角徑山ハ、一向ニメテナ、此様ナ會下ニ居テイラヌト、徑山ヲ見限テ去テ、臨濟ノ會下ヘ行タ事也、大半トハ、三分二ト云心也、

普化一日、於街市中、就人乞直襪、人皆与之、普化俱不要、師令院主買棺一具、普化販来、師云、我与汝做得个直襪了也、普化便自擔去、繞街市叫云、臨濟与我做得个直襪了也、我往東門迁化去、市人競隨着之、普化云、我今日未、来日往南門迁化去、如是三日、人皆不信、至第四日、無人隨着、独出城外、自入棺内、(價力)路人釘之、即時

傳布、市人競往開棺、乃見全身脫去、祇聞空中鈴響、隱々而去、

下、初隨芳草去、又、逐落花飯、

弁、直褌トハ、衣ノ事也、人ニ直褌ヲ乞イ、又遷化シタ
体ヲ、吾ト棺内ニ入タハ、隨芳中去タ也、ソラ死ニ、
脱ケ出処ハ、逐落花飯タ者也、何事ヲ、人ヲ誑惑（73ウ）
セフ共、普化ノ様ナ眼ノ上ニハ、果シ道理力無シ、

撈云、畢竟如何、

下、耳朵兩片皮、

弁、普化ノ諸人ヲ犯テ、ソラ死ヲ、又生キ還テ鈴ヲ響カ
セタモ、本分上ニハ、此様ナ奇特神變ナ事ハ無シ、皆今日
色相ノ上ノ事也、

又、別ノ下吾ニ、猶是弄精魂漢、

弁、正眼力ヲ看レハ、棺ヲ脱ケ出テ、空中ニ鈴ヲ響カシ
タモ、弄精魂タ者也、

師話曰、耳朵兩片皮ノ分テハ、先師ノ下吾ナレ共、思ワシ
フモナイニ依テ、華叟和尚ノ時ヨリ、此句ヲ被用事也、
何時モスリアカツテ見ガ、衲僧ノ眼也、（74才）